

令和4年度

教育委員会所管
主要な施策の成果に関する報告書
〔多賀城市まちづくり報告書〕
〔第六次多賀城市総合計画進捗状況報告〕

多賀城市教育委員会

IV 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

(1) 施策別評価の概要

2 全体の動向

- (1) 将来都市像指標の動き
- (2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)
- (3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
- (4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
- (5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 政策1 | みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり(安全安心) |
| 政策2 | 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉) |
| 政策3 | 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化) |
| 政策4 | 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境) |
| 政策5 | 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気) |
| 政策6 | 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生) |
| 政策7 | 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営) |

(参考)多賀城市まちづくりアンケート調査結果<令和4年度実施>

IV 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

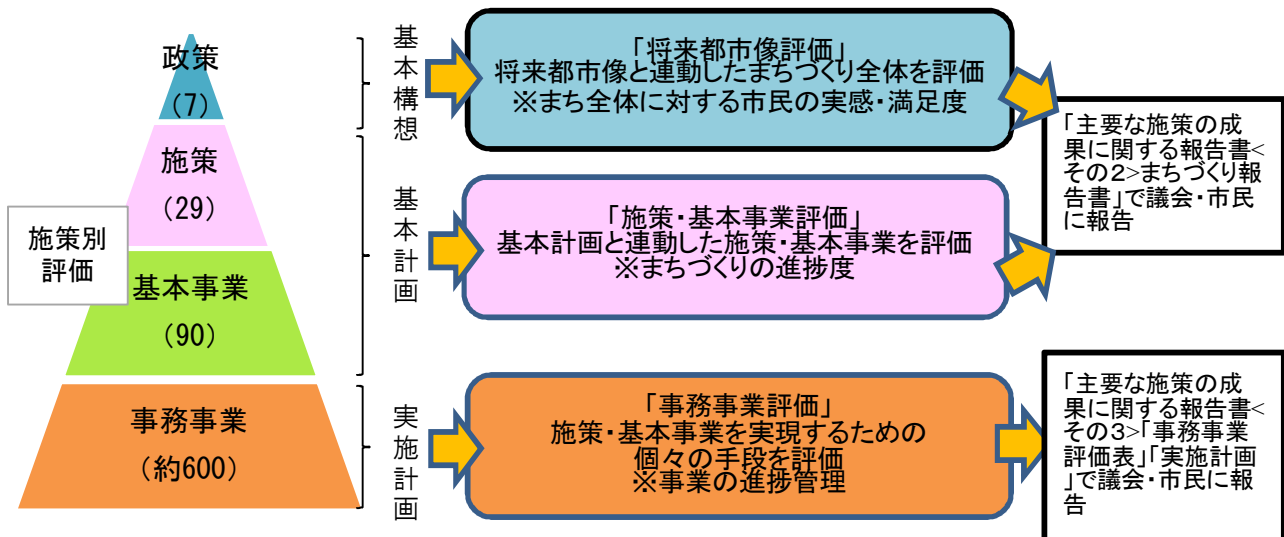
1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和4年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



(1) 施策別評価の概要

① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

2 全体の動向

(1) 将来都市像指標のうごき

本市の将来都市像「日々のよこびふくらむまち 史都 多賀城」実現に向けたまちづくり全体の達成状況とまち全体に対する市民の実感・満足度を測るものとして、次の指標を設定しています。

指標	このまちに住み続けたいと思う市民割合						市民アンケートにより取得
							上がると良い指標
前期基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	
71.8%	70.8%	70.3%	-	-	-	↗	

(2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)

指標のうごきは、指標の前期基準値からの推移状況をもとに下表のとおりです。「晴れ(向上)」、「晴れ(横ばい)」、「曇り(横ばい)」、「雨(低下)」の4段階の区分で表しています【9ページ「指標のうごき」参照】。

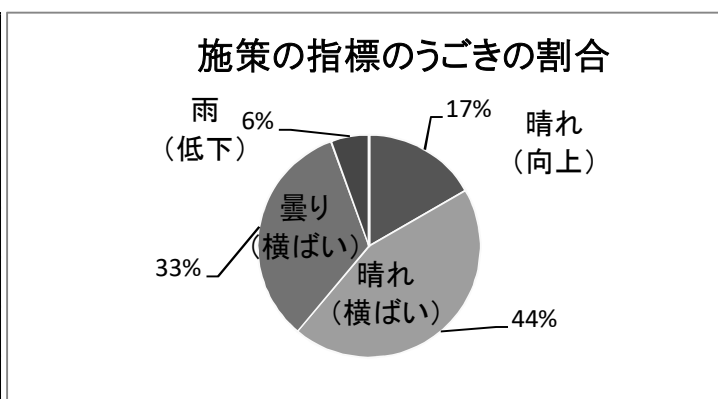
施策と基本事業の「指標のうごき」の状況は下図のとおりとなっています。

成果が向上している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「教育・保育施設等の定員数」、「連携している在宅医療機関、介護事業所の数」、「スポーツ等の教室・大会の参加者数」、「子どもを対象とした環境教育の参加者数」、「事業系ごみの年間排出量」、「観光客の満足度」、「新たな魅力が創出された地域資源等の個数」、「市民参画や協働を取り入れている事業数」、「歴史文化資源活用事業参加者数」、「経常収支比率(水道事業)」、「市税の収納率」、「ICTの活用により効率化が図られた業務数」です。

成果が低下している主な施策・基本事業の指標は、「出産後の支援について満足している者の割合」、「妊娠や出産、子育てに関する市の相談窓口を知っている保護者の割合」、「市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数」、「観光客入込数」、「自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合」、「ふれあいの場・機会への参加者数」です。

① 施策数、指標数及び指標のうごきの割合等

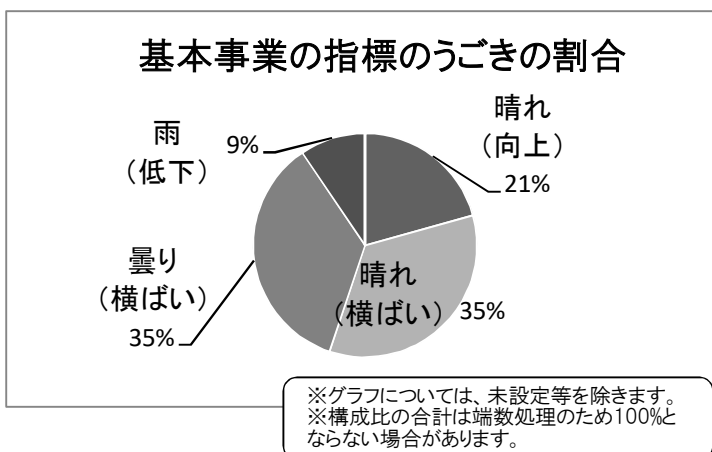
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
晴れ(向上)	6
晴れ(横ばい)	16
曇り(横ばい)	12
雨(低下)	2
未設定等	2



※グラフについては、未設定等を除きます。
 ※構成比の合計は端数処理のため100%と
 ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び指標のうごきの割合等

基本事業数	90
指標数	140
(内訳)	
晴れ(向上)	24
晴れ(横ばい)	40
曇り(横ばい)	41
雨(低下)	11
未設定等	24



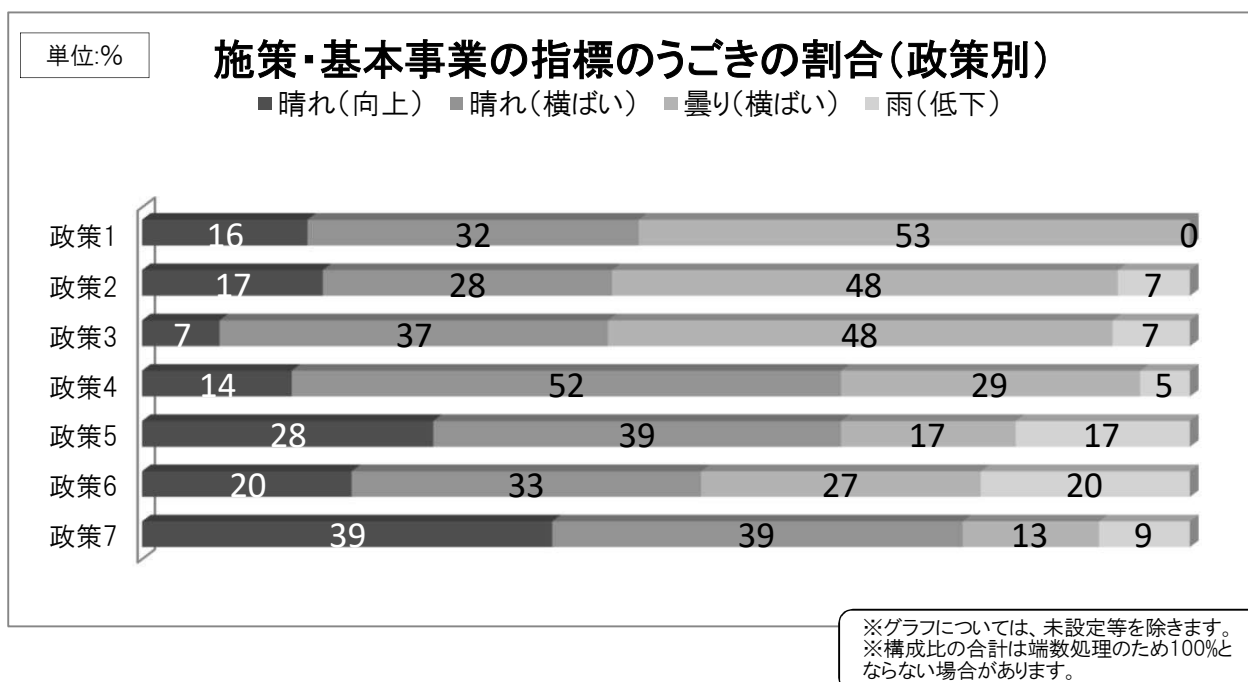
(3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の指標のうごきの状況は下図のとおりとなっています。

◎施策・基本事業の指標数及び指標のうごき

	晴れ(向上)	晴れ(横ばい)	曇り(横ばい)	雨(低下)	未設定等	計
政策1	3	6	10	0	1	20
政策2	5	8	14	2	13	42
政策3	2	10	13	2	2	29
政策4	3	11	6	1	5	26
政策5	5	7	3	3	0	18
政策6	3	5	4	3	0	15
政策7	9	9	3	2	5	28
計	30	56	53	13	26	178



(4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)

指標の令和4年度における前期計画目標値への目標達成度を、「達成(前期目標値を達成しているもの)」、「高(令和6年度までに達成する可能性が高いもの)」、「中(令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの)」、「低(令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの)」の4段階の区分で表しています【9ページの目標達成度参照】。

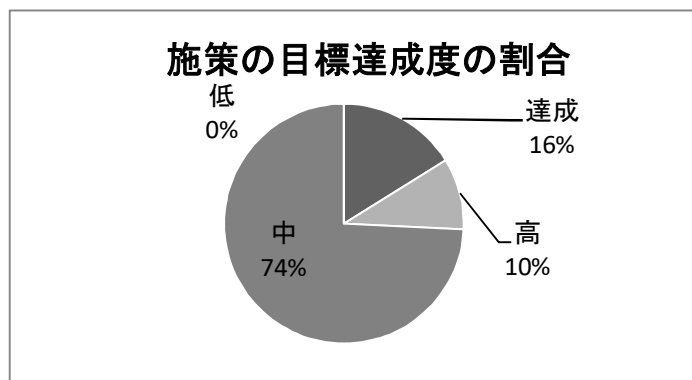
施策と基本事業の「目標達成度」の状況は、下図のとおりとなっています。

前期目標値を達成している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「自立高齢者の割合」、「適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合」、「子どもを対象とした環境教育の参加者数」、「事業系ごみの年間排出量」、「担い手農業者数」、「歴史文化資源活用事業参加者数」、「経常収支比率(水道事業、下水道事業)」、「市税の収納率」、「ICTの活用により効率化が図られた業務数」です。

前期目標年度で達成することが難しいと見込まれる主な施策・基本事業の指標は、「教育・保育施設等の定員数」、「社会体育施設等の利用者数」、「市の創業支援を受けて創業した人の数(累計)」、「ふれあいの場・機会への参加者数」、です。

① 施策数、指標数及び目標達成度の割合等

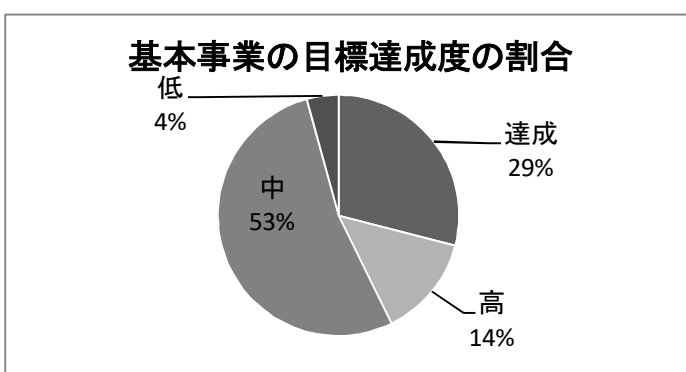
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
達成	5
高	3
中	23
低	0
未設定等	7



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

② 基本事業数、指標数及び目標達成度の割合等

基本事業数	90
指標数	140
(内訳)	
達成	34
高	16
中	62
低	5
未設定等	23



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

(5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の目標達成度の状況は下表のとおりとなっています。

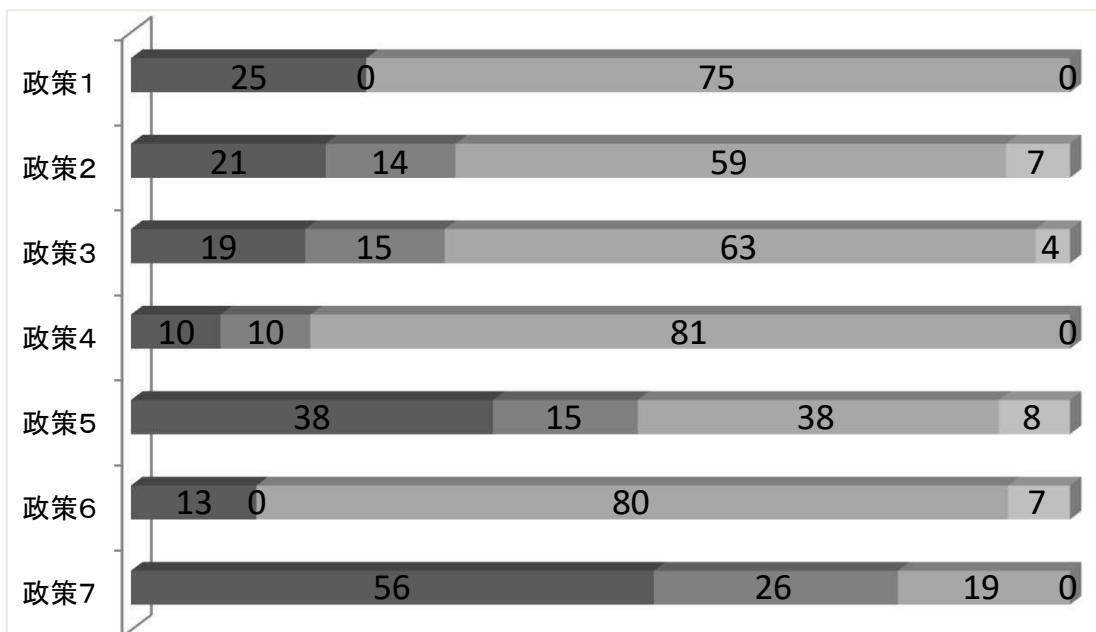
◎施策・基本事業の指標数及び目標達成度(政策別)

	達成	高	中	低	未設定等	計
政策1	4	0	12	0	4	20
政策2	6	4	17	2	13	42
政策3	5	4	17	1	2	29
政策4	2	2	17	0	5	26
政策5	5	2	5	1	5	18
政策6	2	0	12	1	0	15
政策7	15	7	5	0	1	28
全体	39	19	85	5	30	178

単位:%

施策・基本事業の目標達成度の割合(政策別)

■ 達成 ■ 高 ■ 中 ■ 低



※グラフについては、未設定等を除きます。
 ※構成比の合計は端数処理のため100%とならない場合があります。

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果: 目指す姿の達成度を示すもの

社会: 事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替: 成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート: 毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート: 毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得: 業務内で取得する方法

課独自調査: 指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い: 数値が上がると良い指標

下がると良い: 数値下がると良い指標

その他: 数値の増減で良し悪しを判断できない指標

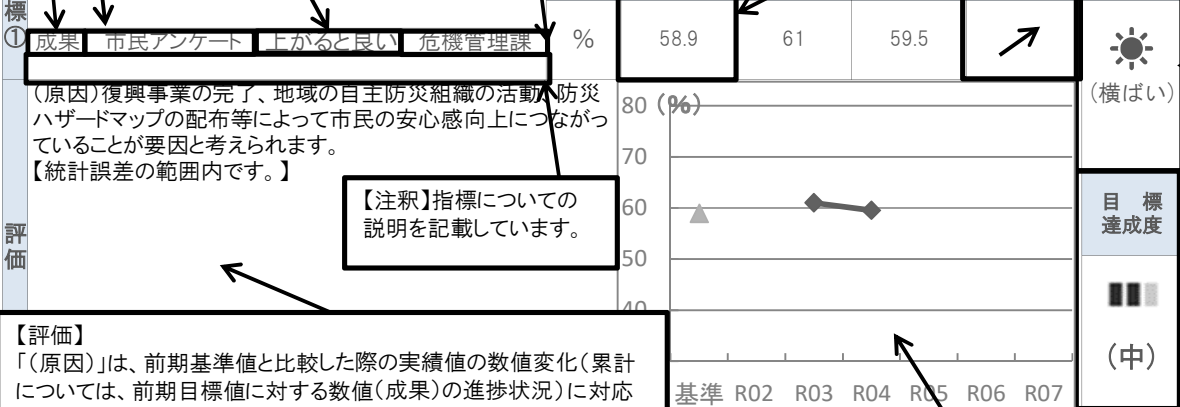
【前期基準値】

原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。
市民アンケート、職員アンケート指標: 令和2年度に取得
業務取得、課独自調査指標: 平成31年度に取得

【担当部署】令和5年度担当部署を記載しています。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合



(原因)復興事業の完了、地域の自主防災組織の活動、防災ハザードマップの配布等によって市民の安心感向上につながっていることが要因と考えられます。

【統計誤差の範囲内です。】

【注釈】指標についての説明を記載しています。

【評価】

「(原因)」は、前期基準値と比較した際の実績値の数値変化(累計については、前期目標値に対する数値(成果)の進捗状況)に対応した原因分析の内容を記載しています。

また、市民アンケートに係る統計誤差及び前期基準値を原則以外の年度に取得した旨についても、記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、前期基準値及び令和7年度の前期目標値を示しており、目標値が数値の場合には、前期基準値から前期目標値への方向性をラインで示しています。目標値が矢印の場合は、前期基準値のみの表示となっています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

基本事業の成果状況は、はじめりが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。

基本事業01 地域防災力の促進(自助・共助)										
指標	災害への備えをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	①	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	55.2	53.2	↗
評価	災害への備えを4つ以上していると回答した市民割合									(横ばい)
	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練の規模が縮小となったこと等から、地域や家庭等において防災意識を向上する機会が少なかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
										(中)

【目標値】
 目標値は、次の3つのパターンで表しています。
 数値：業務データから現状値を把握するもの
 矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの
 ※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。
 ー：指標区分が「社会」のもの及び目標設定がなじまないもの

【指標のうごき】
 前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和4年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。
 なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。
 ☀(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの
 ☁(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの
 ☂(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの
 ☔(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの
 ー：累計以外で前期基準値がないもの、令和4年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの
 ※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

【目標達成度】
 成果指標の前期目標値への令和7年度(前期目標年度)を基準とした、達成度見込みを示しています。
 (達成)：前期目標値を達成しているもの
 (高)：令和6年度までに達成する可能性が高いもの
 (中)：令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの
 (低)：令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの
 ー：前期目標値が「ー」のもの、令和4年度に実績値がないもの

政策3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

(教育文化)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策の目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつけられていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき (横ばい)
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	38.6	37.3	36.2	
評価	(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童・生徒の成長を支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、市民が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標①	学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	16.4	12.4	12.7	→	
評価	(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童・生徒の成長を支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、市民が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
										■ (中)

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標②	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合 (小学生)				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	77.3	73.8	74.7	→	
評価	教育活動状況調査の結果 (原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童の学びを支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、児童が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】									目標達成度
										■ (高)

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標③	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができている生徒の割合 (中学生)				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	80.9	66.3	69.2	→	
評価	教育活動状況調査の結果 (原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで生徒の学びを支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、生徒が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】									目標達成度
										■ (中)

基本事業02 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	839	839	1,643	→	
評価	令和3年度から事業内容に大きな変更がありました。 (原因) 地域住民が小学校で放課後の空き教室などを活用して子どもに体験の場を提供する放課後子ども教室や、授業などを支援する学校支援活動について、感染症対策をした上で回数を増加させたことが要因です。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】									目標達成度
										☔ (達成)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 02 学校教育の充実

施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

施策の成果状況と評価

指標①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	92.3	88.3	87.3	➔
評価	教育活動状況調査の結果								指標のうごき (横ばい)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に様々な制限がある中で指標値は若干低下したものの、ICTの活用による学習の充実など各校の様々な工夫により微減傾向にとどまったことが要因と考えられます。								目標達成度 (中)

指標②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	81	85.4	82.2	➔
評価	教育活動状況調査の結果								指標のうごき (横ばい)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に様々な制限がある中で、各校の工夫により、学習や行事活動、部活動等に取り組むことができたことが要因と考えられます。								目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の育成

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	90.3	88.1	86.4	➔
評価	教育活動状況調査の結果								指標のうごき
	(原因) ICT機器の活用により学習方法を工夫したことで大きな変動はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童の学び合い活動が制限されたことが要因と考えられます。								目標達成度
								■ (中)	

基本事業01 確かな学力の育成

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	80.7	84.1	79.3	➔
評価	教育活動状況調査の結果								指標のうごき
	(原因) ICT機器の活用により学習方法を工夫したことで大きな変動はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の学び合い活動が制限されたことが要因と考えられます。								目標達成度
								■ (高)	

基本事業02 豊かな心の育成

指標①	不登校出現率			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	2.4	2.8	3	➔
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出								指標のうごき
	(原因) 学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え学校不応や登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響による学校活動の制限により、学級活動や学校行事の規模が縮小され、人間関係の構築を図る機会が減少したことなど、様々な不安、ストレスによる影響が生じていることが要因と考えられます。								目標達成度
								■ (中)	

基本事業02 豊かな心の育成

指標②	再登校率			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	教育総務課	%	19.8	35.2	42.8	—
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出								指標のうごき
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響等により不登校児童生徒数や不登校出現率が微増傾向にある中で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校による対応、心のケアハウスの運営など、予防を含めた様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。 【令和3年度から指標のとり方を変更しています。】								目標達成度
								—	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健やかな体の育成

指標①	基本的な生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	87.1	90.3	86.3	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
	(原因) 朝食を食べる習慣や適切な睡眠などの基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛け等を推進してきたことが微減傾向にとどまった要因と考えられます。									目標達成度 (中)

基本事業03 健やかな体の育成

指標②	基本的な生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	81.7	87.8	84.6	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
	(原因) 朝食を食べる習慣や適切な睡眠などの基本的な生活習慣について、学校や家庭での声掛け等を推進してきたことが要因と考えられます。									目標達成度 (達成)

基本事業04 教育環境の保全と運営

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした件数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	
評価										(横ばい)
	(原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当するなど、きめ細かい対応を行ったことが要因です。									目標達成度 (達成)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 03 生涯学習の促進

施策の目指す姿

生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	71.3	71.2	71.4	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた公民館などでの講座や教室が再開していることに加え、インターネットを活用するなど自宅で学習する環境が整ってきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀ (横ばい)
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標①	学習機会に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	88.3	86.2	86.8	→	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止してきた各種講座等の再開や、インターネットなど多様な方法で学習できる環境が整ってきたことにより復調傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響前と比較すると、学習活動に参加する機会が減少していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲です。】</p>									<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標②	学習成果を生かしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	66.4	65.8	66.4	→	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習や発表の機会などが制限される期間が長期化する中、仕事・就職・趣味・健康・日常生活などで学習成果を生かしていると答えた方の割合が高かったことが横ばいの要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>									<p>☀ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業02 文化芸術の振興

指標①	文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.3	49.9	57.8	→	
評価	<p>(原因) 歌唱・音楽演奏、映画や文化財・史跡などを鑑賞した方の割合が増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた鑑賞の機会が増加していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>									<p>☀ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業02 文化芸術の振興

指標②	文化芸術活動をしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	18.6	17.1	18.9	→	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた文化芸術活動の機会が増加してきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>									<p>☀ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

指標 ①	生涯学習施設を利用している市民割合			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	52.2	55	50.5	
評価	(原因) 市民会館の利用について大幅に減少しており、大ホール、練習室等の改修により、一部施設を閉館していることが要因です。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 04 市民スポーツ社会の促進

施策の目指す姿

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上運動・スポーツをしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	46.2	46.5	45.7	➔
評価	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、集団でスポーツを行う人は減少傾向にありますが、ウォーキングやランニング、体操など個人で運動・スポーツを行う人の割合が増えていることが、横ばいの要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい) 目標 達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標①	運動・スポーツ機会に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	81.7	82.1	83.3	→	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により運動・スポーツが制限される期間が長期化するなか、自宅や屋外などで個人で取り組んでいることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
					■ (高)					

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標②	スポーツ等の教室・大会の参加者数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	5,330	4,748	7,131	5,500	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた社会体育事業やスポーツ団体の活動が再開されたことが要因です。									目標達成度
					🏰 (達成)					

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

指標①	社会体育施設等の利用者数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	296,806	215,082	235,053	350,000	
評価	市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら社会体育施設運営を行ったものの、屋内施設の利用が低調であったことが要因と考えられます。									目標達成度
					■ (低)					

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 05 文化財の保護と活用

施策の目指す姿

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化を身近に感じている市民割合			単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	55.2	56.1	58.3	
評価	(原因) 日本遺産の普及啓発や南門等復元整備の進捗に伴いメディアで取り上げられたことや、見学会等を実施したことにより、市内の文化財を知る機会が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀ (横ばい)
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	適正に調査・保護された文化財の件数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
		代替	業務取得	その他	文化財課	件	188	244	187	—
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数									---
	(原因) 近年は高い住宅需要を反映し、届出件数が高水準で推移しています。									目標達成度

基本事業02 文化財の活用促進

指標①	活用されている文化財の面積				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
		成果	業務取得	上がると良い	文化財課	㎡	193,393	248,995	288,406	360,895
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数									☀ (横ばい)
	(原因) 中央公園整備地の供用開始に伴い史跡の活用面積が増加したことが要因です。									目標達成度

基本事業02 文化財の活用促進

指標②	市内所在の文化財等訪問者数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
		代替	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	135,009	81,434	130,498	170,000
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数									☁ (横ばい)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた各種イベントの再開等により、復調傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、屋内での体験等の利用が低調であったことが要因と考えられます。									目標達成度

基本事業03 文化財の普及啓発

指標①	市内所在文化財等の平均認知項目数				単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	指標のうごき
		成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	8.06	7.8	7.6	→
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数									☁ (横ばい)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化財を知るきっかけとなる屋内展示施設の入館者数が低調であったことが要因と考えられます。									目標達成度

(参考)
多賀城市まちづくりアンケート調査結果
〈令和4年度実施〉

①多賀城市まちづくりアンケートの令和4年度実施状況

多賀城市まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している指標の進捗状況を調査するため、毎年度実施しています。令和4年度の実施状況は、次のとおりです。

アンケート発送日	令和5年2月1日
アンケート発送数	3,000通
調査対象者数	2,981人
有効回収数	1,625人
回収率	54.5%

②市民の満足度と重要度の調査結果

今後のまちづくりにいかしていくことを目的として、各施策に対する市民ニーズ(満足度、重要度)の状況を、多賀城市まちづくりアンケートによって取得しています。ここでは、アンケートにより把握した29の施策に対する市民満足度と重要度の状況を5点満点で数値化し、前期基本計画の基準値である令和2年度と令和4年度の数値を比較します。

満足度	
・満足	5点
・どちらかといえば満足	4点
・普通	3点
・どちらかといえば不満	2点
・不満	1点

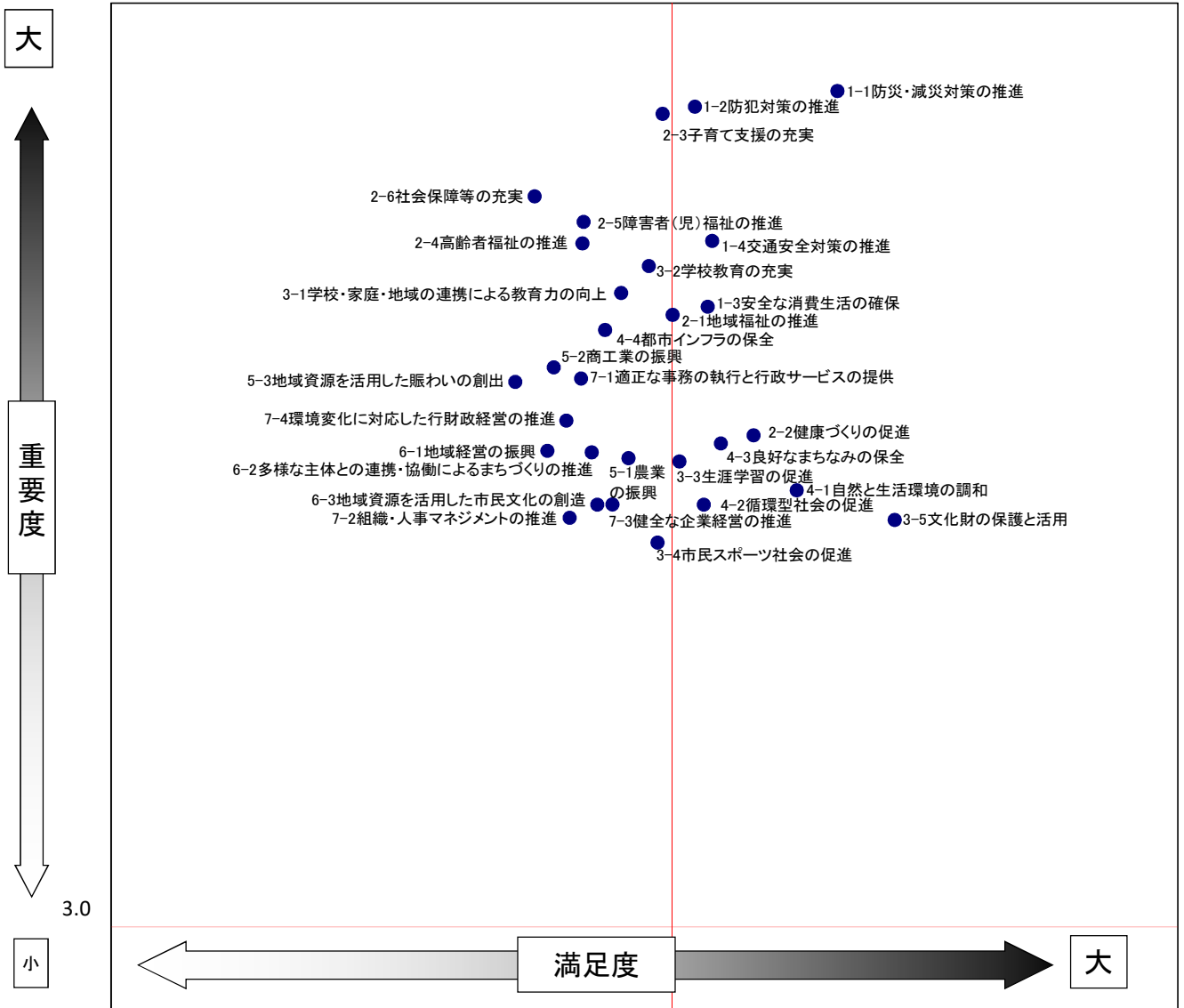
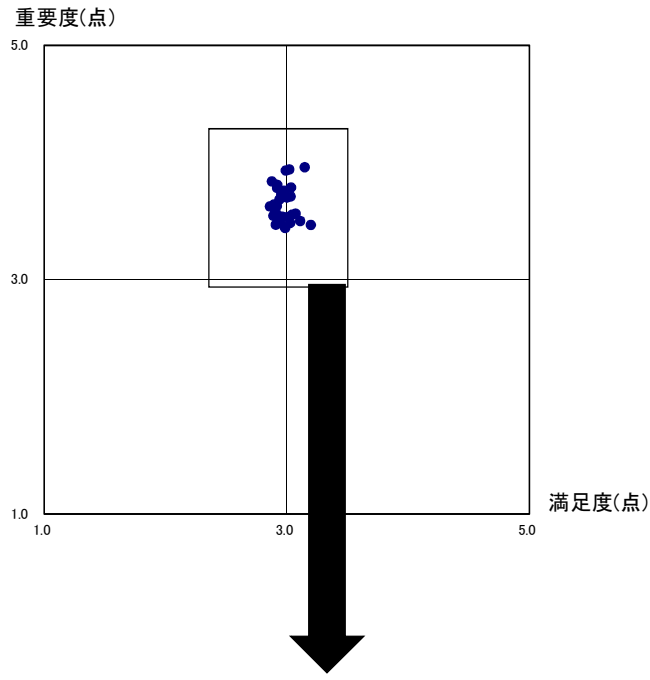
重要度	
・力を入れるべき	5点
・できれば力を入れるべき	4点
・今のままでよい	3点
・あまり力を入れなくてよい	2点
・力を入れなくてよい	1点

政策・施策分野	満足度			重要度		
	令和2年度 A	令和4年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和4年度 E	対2年度比 F(E-D)
1-1 防災・減災対策の推進	3.13	3.15	0.02	3.93	3.96	0.03
1-2 防犯対策の推進	3.04	3.02	△ 0.02	3.88	3.94	0.06
1-3 安全な消費生活の確保	3.12	3.03	△ 0.09	3.60	3.71	0.11
1-4 交通安全対策の推進	3.02	3.04	0.02	3.76	3.79	0.03
2-1 地域福祉の推進	2.97	3.00	0.03	3.72	3.70	△ 0.02
2-2 健康づくりの推進	3.06	3.07	0.01	3.59	3.56	△ 0.03
2-3 子育て支援の充実	2.97	2.99	0.02	3.88	3.93	0.05
2-4 高齢者福祉の推進	2.92	2.92	0.00	3.84	3.78	△ 0.06
2-5 障害者(児)福祉の推進	2.96	2.92	△ 0.04	3.78	3.81	0.03
2-6 社会保障等の充実	2.89	2.88	△ 0.01	3.81	3.84	0.03

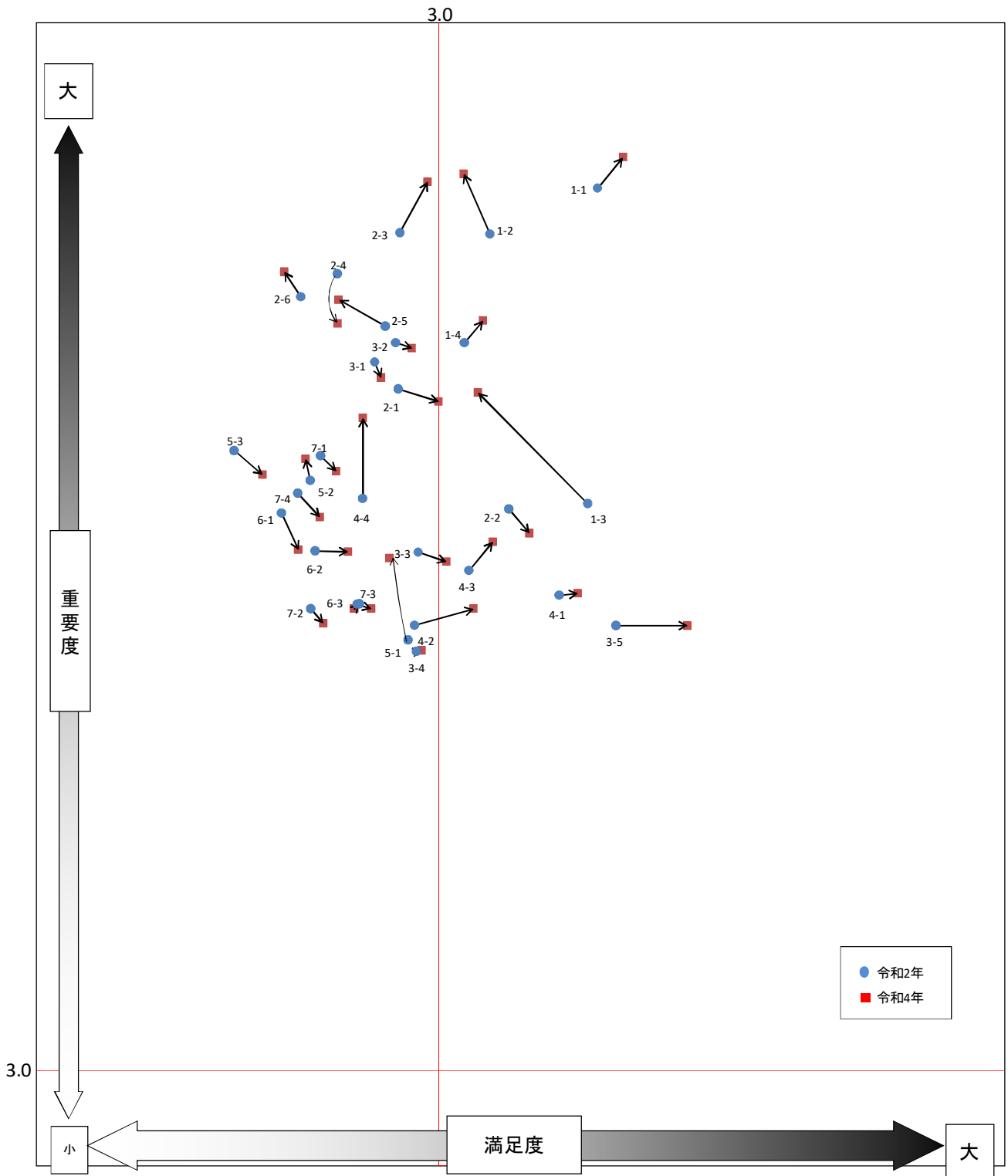
政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和4年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和4年度 E	対2年度比 F(E-D)
3-1	学校・家庭・地域の連携による 教育力の向上	2.95	2.95	0.00	3.74	3.73	△ 0.01
3-2	学校教育の充実	2.97	2.98	0.01	3.76	3.76	0.00
3-3	生涯学習の促進	2.98	3.01	0.03	3.54	3.53	△ 0.01
3-4	市民スポーツ社会の推進	2.98	2.99	0.01	3.44	3.44	0.00
3-5	文化財の保護と活用	3.14	3.20	0.06	3.47	3.47	0.00
4-1	自然と生活環境の調和	3.10	3.11	0.01	3.50	3.50	0.00
4-2	循環型社会の促進	2.98	3.03	0.05	3.47	3.48	0.01
4-3	良好なまちなみの保全	3.02	3.04	0.02	3.53	3.55	0.02
4-4	都市インフラの保全	2.94	2.94	0.00	3.60	3.69	0.09
5-1	農業の振興	2.98	2.96	△ 0.02	3.45	3.54	0.09
5-2	商工業の振興	2.90	2.89	△ 0.01	3.62	3.64	0.02
5-3	地域資源を活用した販わいの 創出	2.84	2.86	0.02	3.65	3.63	△ 0.02
6-1	地域経営の振興	2.88	2.89	0.01	3.59	3.55	△ 0.04
6-2	多様な主体との連携・協働による まちづくりの推進	2.90	2.93	0.03	3.55	3.54	△ 0.01
6-3	地域資源を活用した市民文化 の創造	2.94	2.95	0.01	3.49	3.48	△ 0.01
7-1	適正な事務の執行と行政サー ビスの提供	2.91	2.92	0.01	3.65	3.63	△ 0.02
7-2	組織・人事マネジメントの推進	2.90	2.91	0.01	3.48	3.47	△ 0.01
7-3	健全な企業経営の推進	2.94	2.93	△ 0.01	3.49	3.48	△ 0.01
7-4	環境変化に対応した行財政経 営の推進	2.89	2.91	0.02	3.61	3.58	△ 0.03
	最大	3.14	3.20	/	3.93	3.96	/
	最小	2.84	2.86		3.44	3.44	
	平均	2.97	2.98		3.63	3.65	

●満足度は上がると良い指標であり、重要度は下がると良い指標です。

まちづくりアンケート 満足度重要度結果(令和4年度)



まちづくりアンケート 満足度重要度結果 基準年(令和2年度)・令和4年度比較



● 令和2年
■ 令和4年

- 政策1
 1-1 防災・減災対策の推進
 1-2 防犯対策の推進
 1-3 安全な消費生活の確保
 1-4 交通安全対策の推進
 政策2
 2-1 地域福祉の推進
 2-2 健康づくりの促進
 2-3 子育て支援の充実
 2-4 高齢者福祉の推進
 2-5 障害者(児)福祉の推進
 2-6 社会保障等の充実

- 政策3
 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
 3-2 学校教育の充実
 3-3 生涯学習の促進
 3-4 市民スポーツ社会の促進
 3-5 文化財の保護と活用
 政策4
 4-1 自然と生活環境の調和
 4-2 循環型社会の促進
 4-3 良好なまちなみの保全
 4-4 都市インフラの保全
 政策5
 5-1 農業の振興
 5-2 商工業の振興
 5-3 地域資源を活用した賑わいの創出

- 政策6
 6-1 地域経営の振興
 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造
 政策7
 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
 7-2 組織・人事マネジメントの推進
 7-3 健全な企業経営の推進
 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

(参考)統計の見方

①アンケートの配布票数及び有効票数について

統計学的には、対象となる方々の性別、年齢、職業、居住地などをバランスよく抽出しアンケート調査を行い、有効回答が概ね1,000票となれば、そのアンケート結果は、対象となる母集団の大小に係わらず、ほぼ変わらないとされています。この有効票数1,000票は、日本国民全体を対象とした場合でもサンプル数としては十分となることから、テレビの支持政党の電話アンケートなどの世論調査でも活用されています。

また、1,000票程度の有効票数が得られれば、違う人を対象に、同じアンケート調査を100回行った場合でも、そのうち95回は、ほぼ同じ結果が得られるとされています。そのため、傾向を判断する場合には、適切な手法ということとなります。ただし、アンケート結果がほぼ同数で回答が分かれるような内容の場合は、統計誤差の関係から、傾向の判断が難しい場合があります。

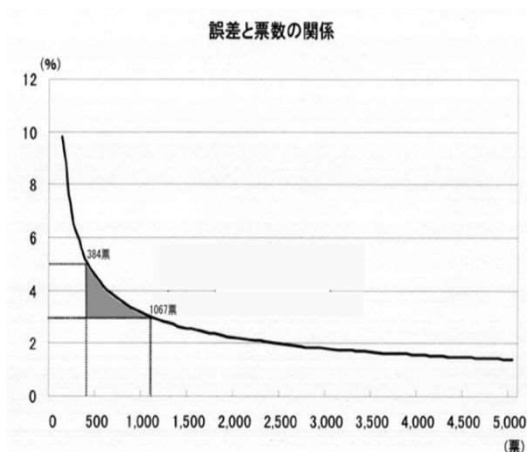
よって、今回実施した「多賀城市まちづくりアンケート」においても、概ね1,000票の有効回答を目標に、これまで多賀城市で実施したアンケート調査結果などから回収率を約33%と想定し、配布数(対象者数)を3,000票としました。

②アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、下図のとおり稜線を描くような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100票程度であることが算出されています。

よって、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分信頼性の高い数字になると言えます。



【上記は3%~5%の範囲を示しています。】

《参考》

サンプル数(アンケートの有効回答票数)と誤差との関係式

必要なサンプル数

$$=(\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}\%^2$$

有意水準:統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数(=1.96)

P:誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0.5

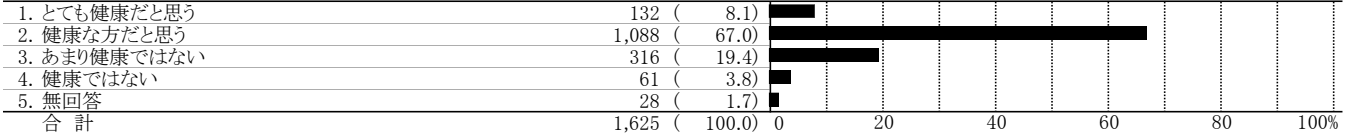
目標誤差:3~5%以内であれば良いとされている。

③回収票数と誤差

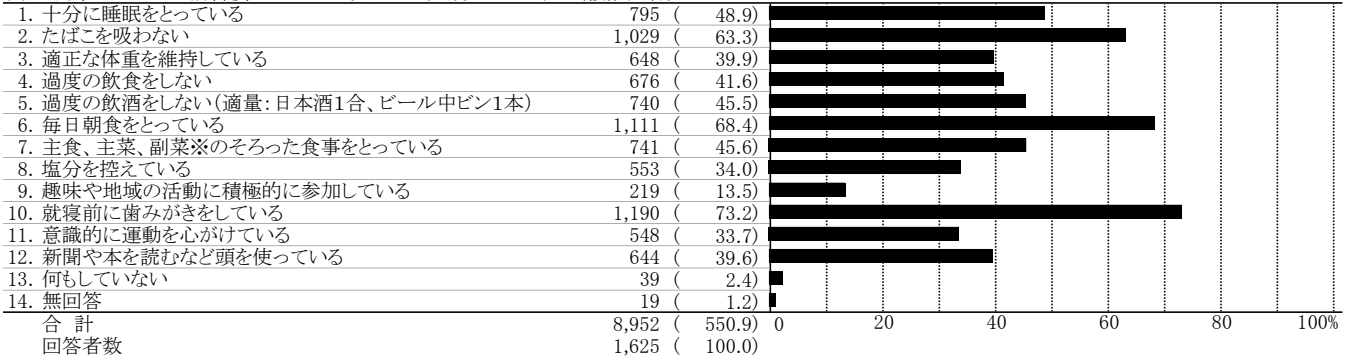
実施の結果として仮に1,000票の回答があったとすると、上記の式に入れて逆算すると、誤差は3.1%となります。これは、例えば違う人を対象にして、今回と同じ調査を複数回実施しても、結果の%の値が±3.1ポイント以内でしか変わらないということです。

このことから、まちづくり報告書においては、異なる年度との比較を行う際には、5.0ポイントまでの差については、統計誤差として処理することとしています。

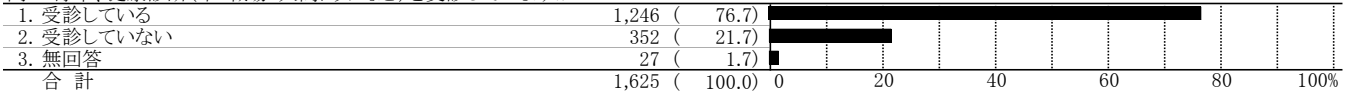
問1. ふだん健康だと思いますか



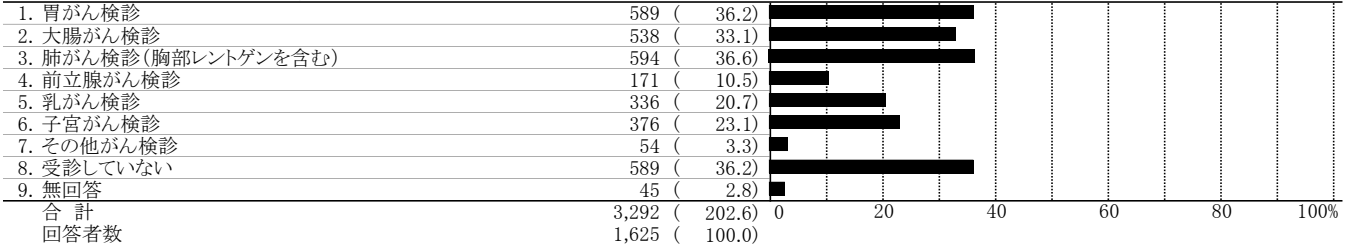
問2. 健康のために生活習慣としてどのようなことを実践していますか(複数回答)



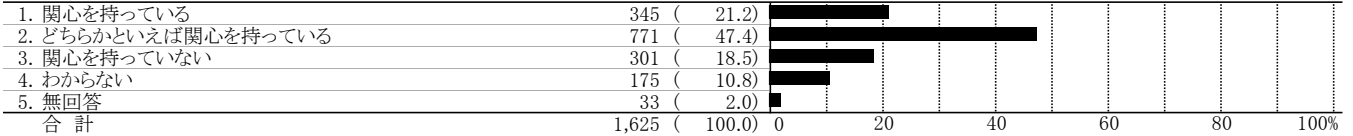
問3. 毎年、健康診断(市・職場・人間ドックなど)を受診していますか



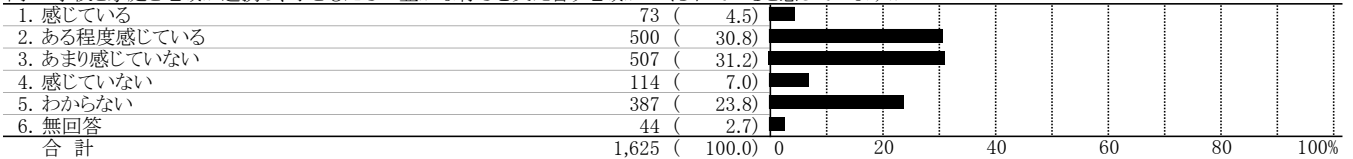
問4. この1年間に、どのようながん検診を受診しましたか(複数回答)



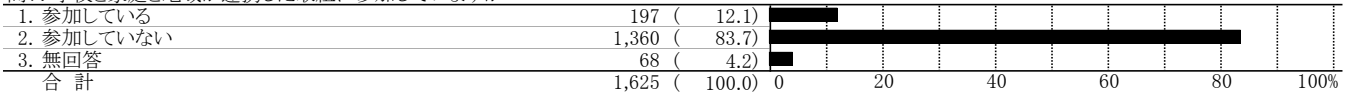
問5. 食育に関心を持っていますか



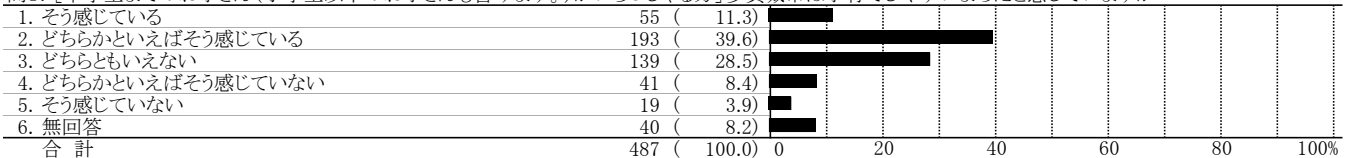
問6. 学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると感じていますか



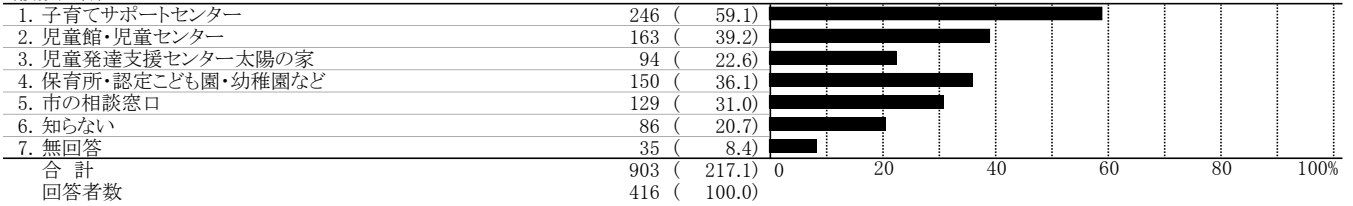
問7. 学校と家庭と地域が連携した取組に参加していますか



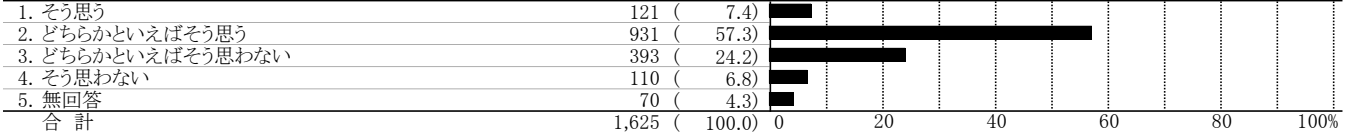
問8. [中学生までのお子さん(小学生以下のお子さんも含みます。)]がいらっしゃる方]多賀城市は子育てしやすいまちだと感じていますか



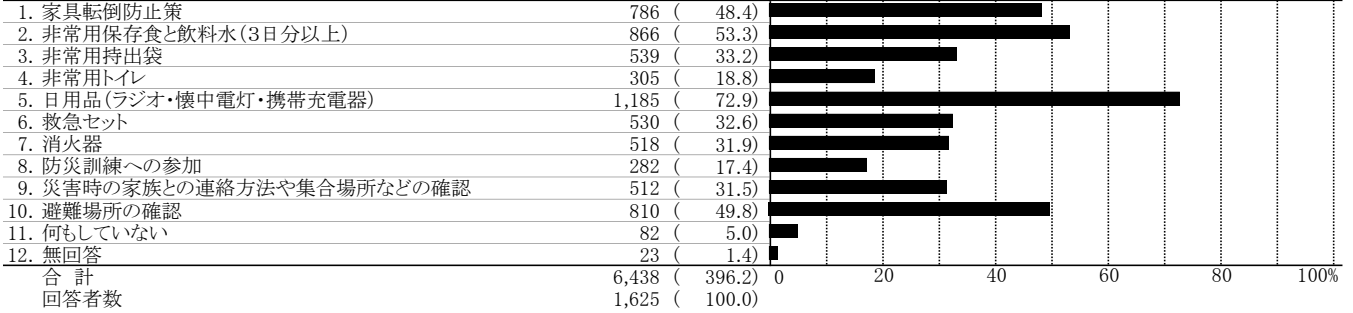
問9. [小学生までのお子さんがいらっしゃる方]妊娠や出産、子どもの成長や発達など子育てに関する様々な悩みに対応する市の相談窓口を知っていますか(複数回答)



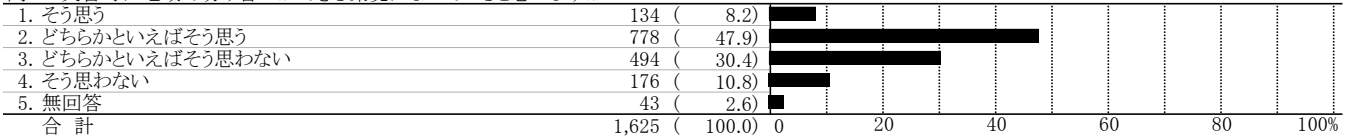
問10. 行政の災害に対する備えが整っていると思いますか



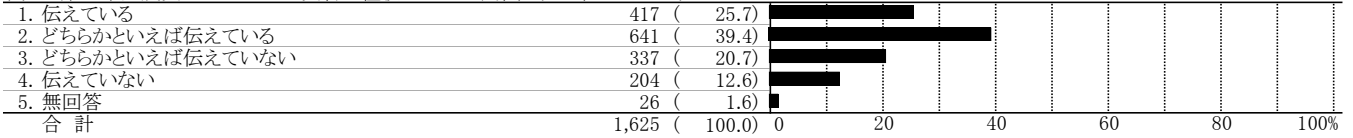
問11. あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか(複数回答)



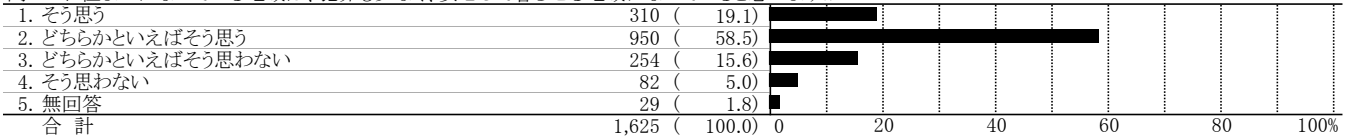
問12. 災害時に地域で助け合いができる環境になっていると思いますか



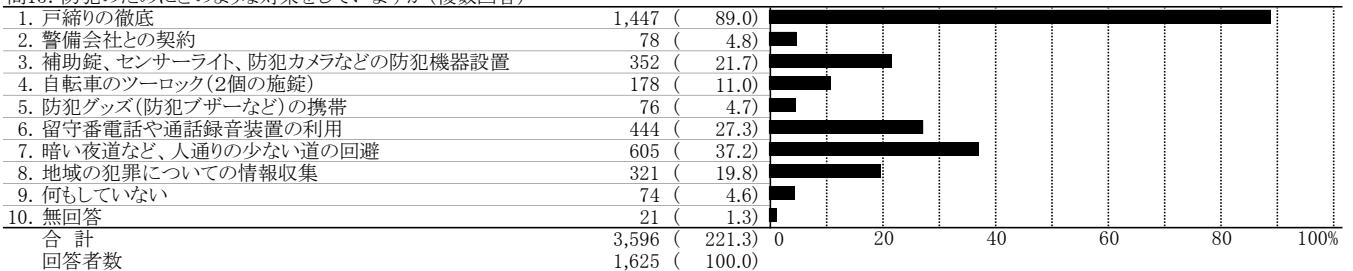
問13. 東日本大震災をはじめとした災害で経験したことを周囲の人に伝えていますか



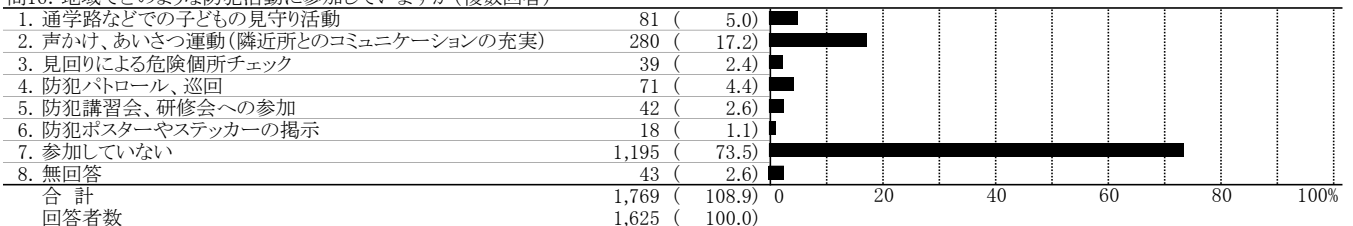
問14. お住まいになっている地域は、犯罪も少なく、安心して暮らせる地域になっていると思いますか



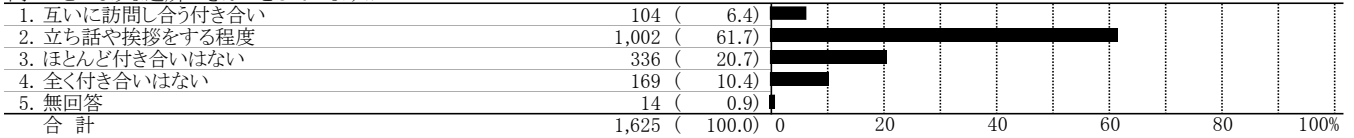
問15. 防犯のためにどのような対策をしていますか(複数回答)



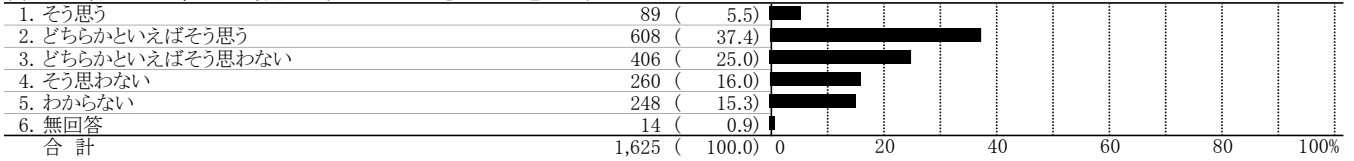
問16. 地域でどのような防犯活動に参加していますか(複数回答)



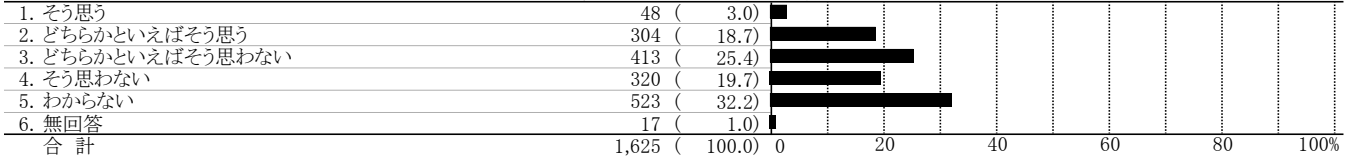
問17. どのような近所づきあいをしていますか



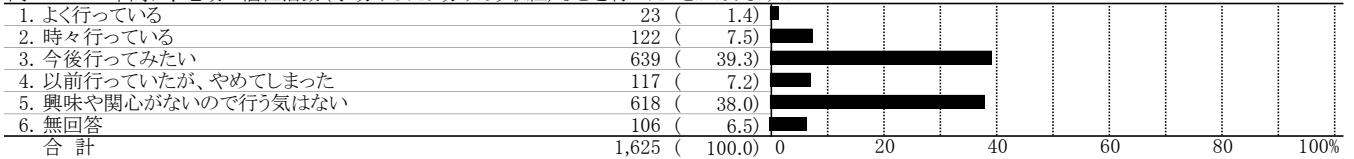
問18. 地域において、互いに助けあい支えあいができていると思いますか



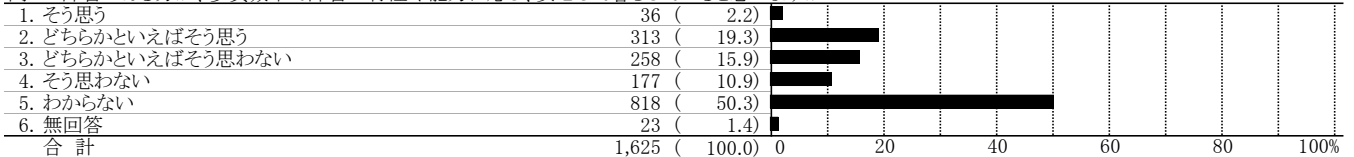
問19. 地域において、要配慮者(障害者や高齢者、75歳以上の一人暮らしの方など)を助け合う仕組みが整っていると思いますか



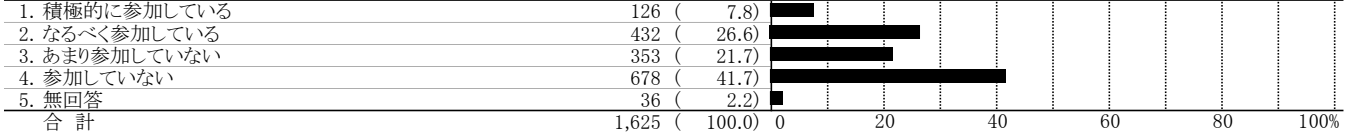
問20. この1年間に、地域の福祉活動(手助けしたり助けあう取組)などを行ったことがありますか



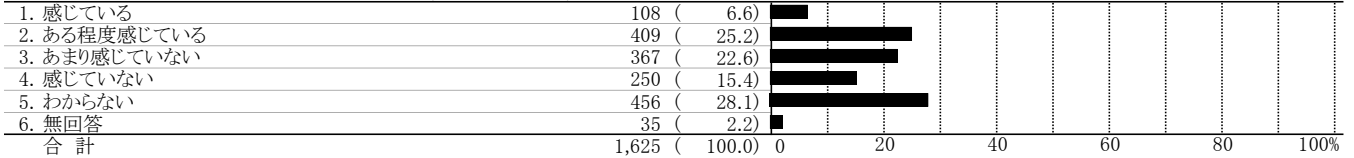
問21. 障害のある方が、多賀城市で障害の特性や能力に応じ、安心して暮らしていると思いますか



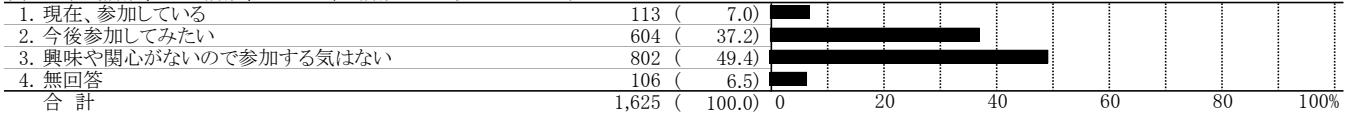
問22. 地域自治活動(町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など)にどの程度参加していますか



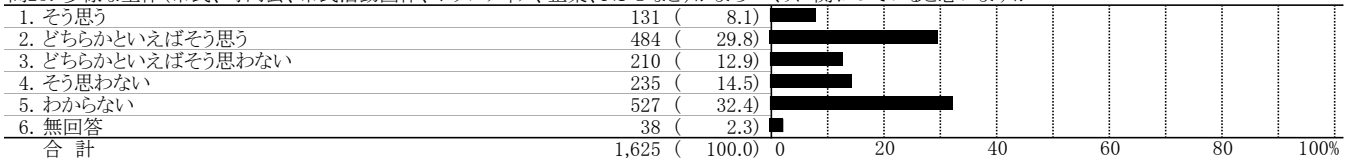
問23. 町内会活動が地域のつながりづくりや課題解決につながり、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じていますか



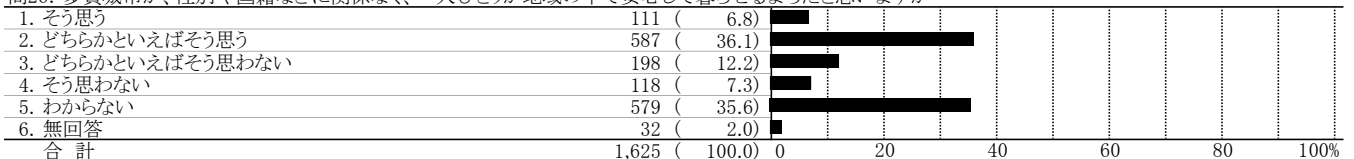
問24. 市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか



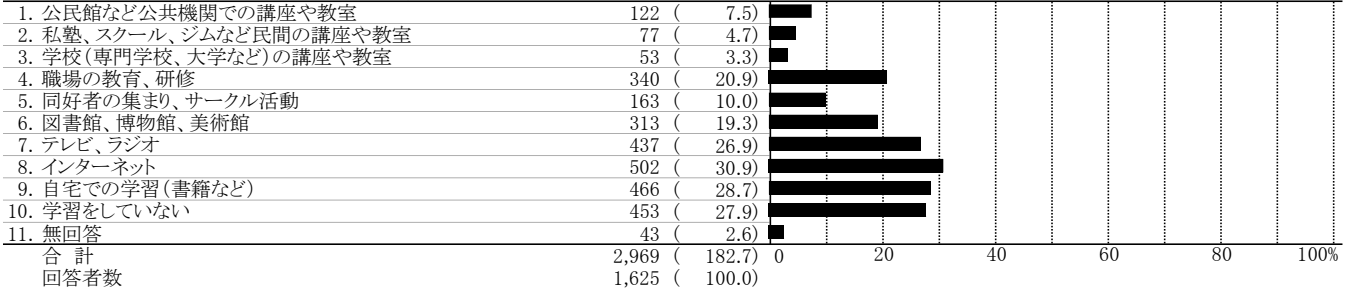
問25. 多様な主体(市民、町内会、市民活動団体、ボランティア、企業、NPOなど)がまちづくりに関わっていると思いますか



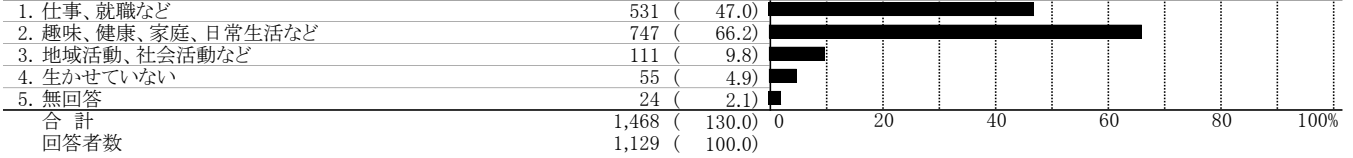
問26. 多賀城市が、性別や国籍などに関係なく、一人ひとりが地域の中で安心して暮らせるまちだと思いますか



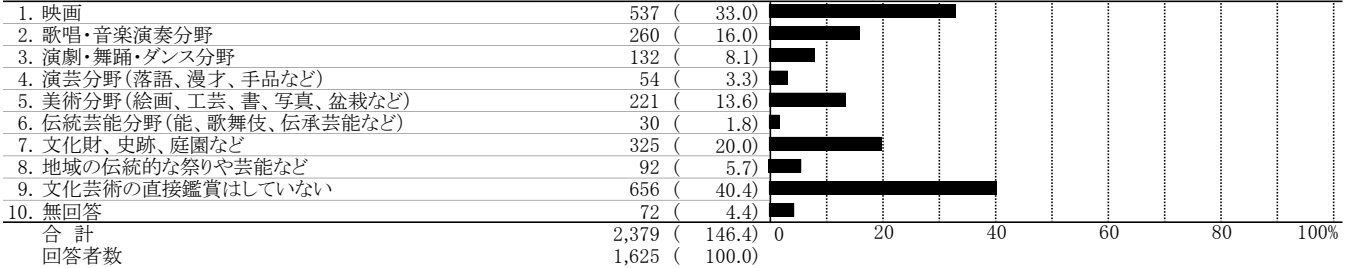
問27. この1年間に、どのような場所や方法で学習をしたことがありますか(複数回答)



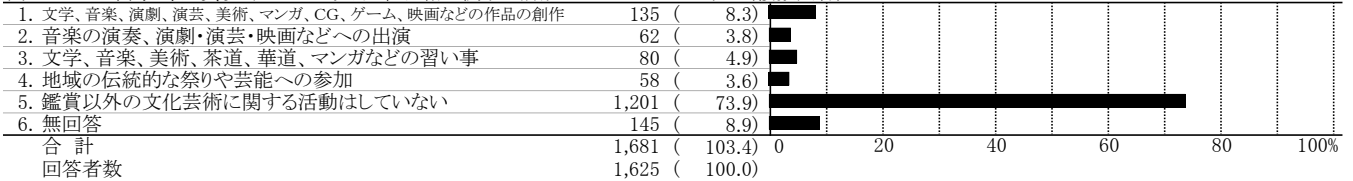
問27-2. [問27で1~9に○をつけた方]学習した成果をどのように生かしていますか、又は生かせると思いますか(複数回答)



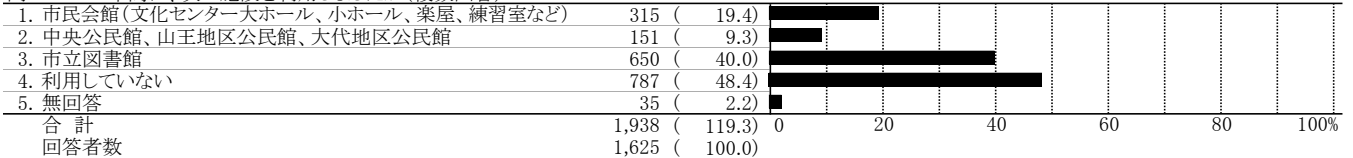
問28. この1年間に、どのような文化芸術を映画館、ホール、展覧会、美術館、祭り、史跡などで直接鑑賞しましたか(複数回答)



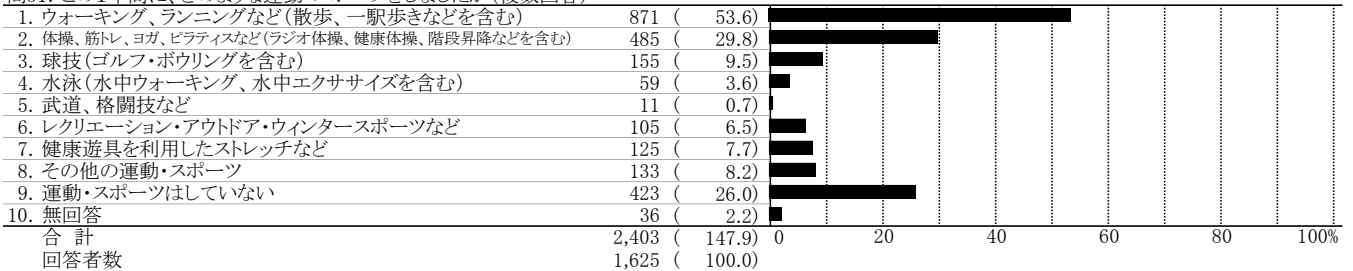
問29. この1年間に、鑑賞以外でどのような文化芸術に関する活動をしたことがありますか(複数回答)



問30. この1年間に、次の施設を利用しましたか(複数回答)

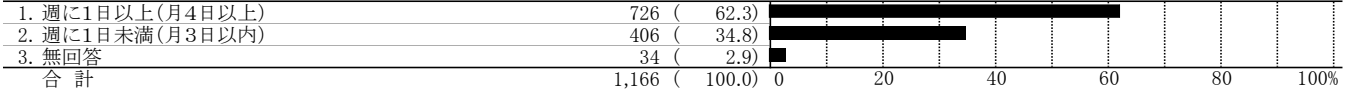


問31. この1年間に、どのような運動・スポーツをしましたか(複数回答)

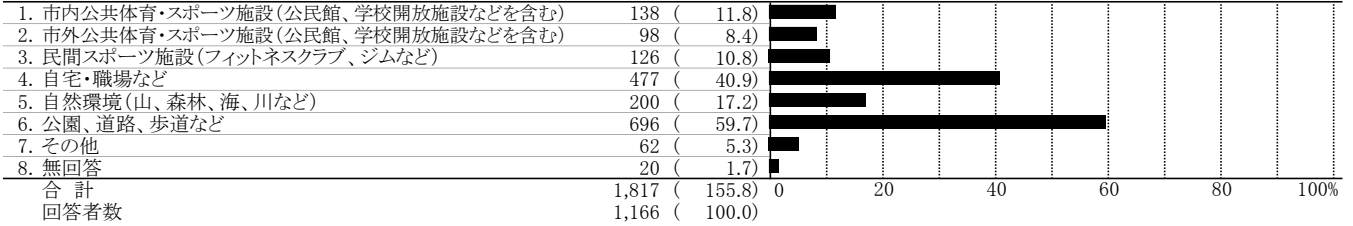


多賀城市 まちづくりアンケート

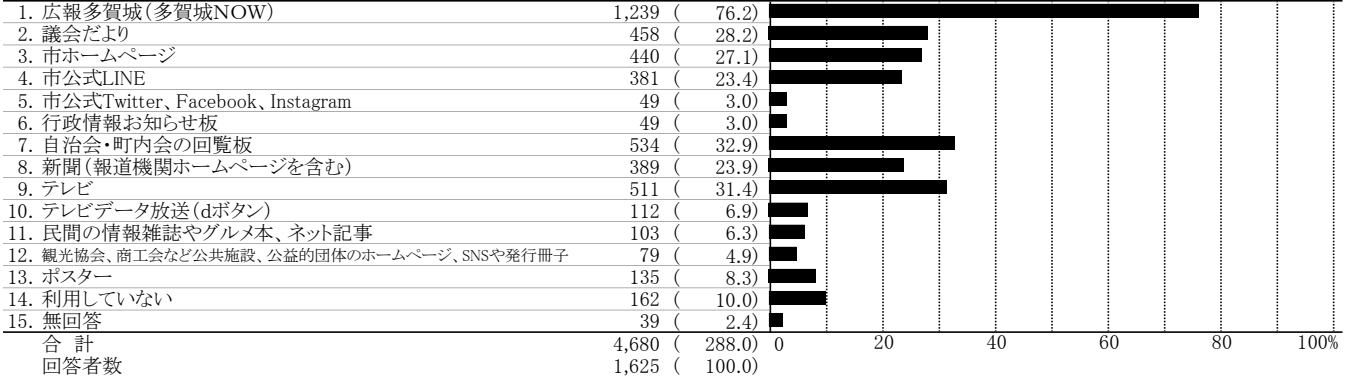
問31-2. [問31で1～8に○をつけた方]この1年間に、どのくらいの割合で運動・スポーツをしましたか



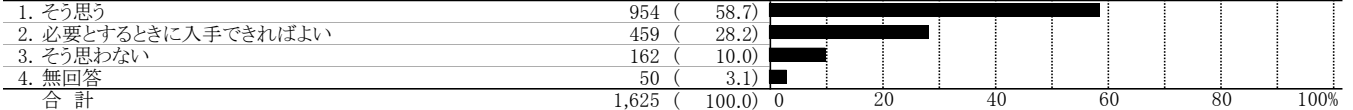
問31-3. [問31で1～8に○をつけた方]どのような場所で運動・スポーツをしていますか(複数回答)



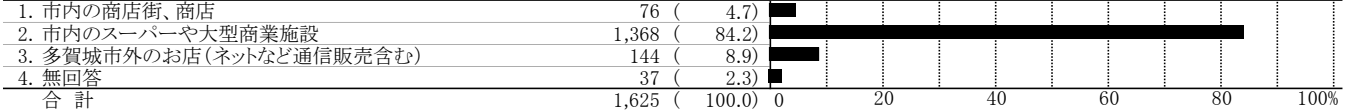
問32. この1年間に、市政情報を含めたまちの情報を得るため、どの情報媒体を利用したことがありますか(複数回答)



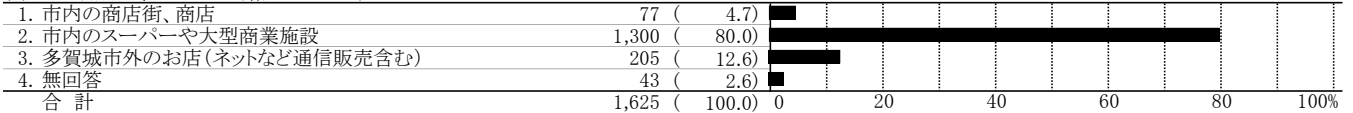
問33. 広報多賀城について、冊子による全戸配付が今後も必要だと思いますか



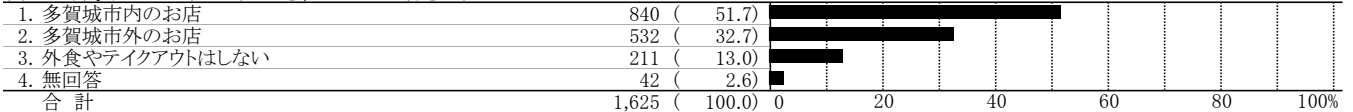
問34. 食料品を、主にどこで購入していますか



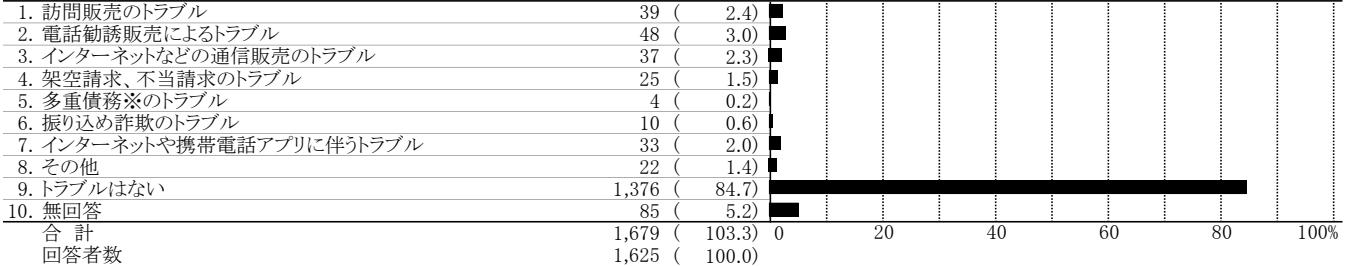
問35. 日用品を、主にどこで購入していますか



問36. 外食やテイクアウトをするとき、主にどこに行きますか

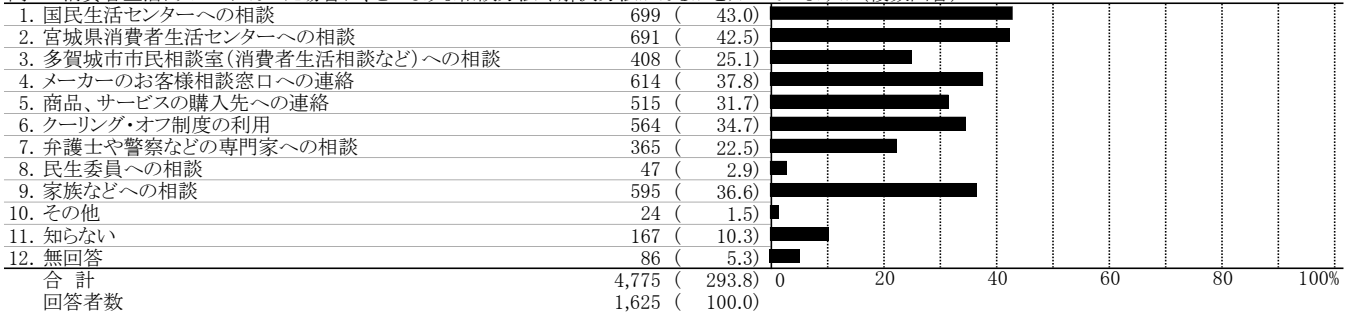


問37. この1年間に、次のような消費生活に関わるトラブルにあつたことがありますか(複数回答)

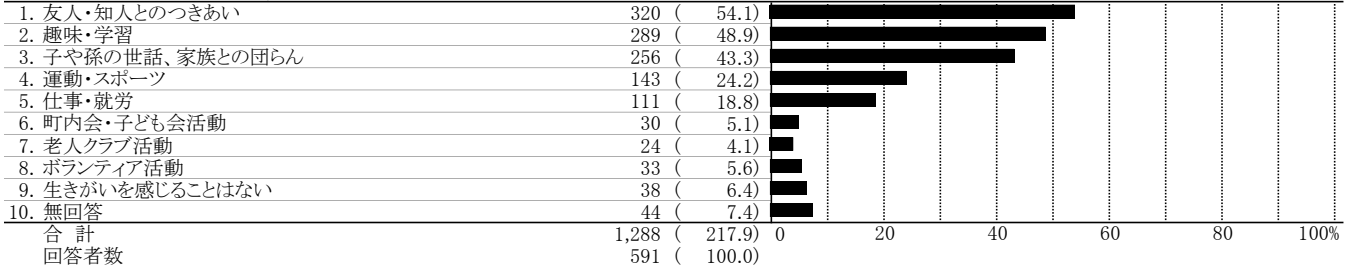


多賀城市 まちづくりアンケート

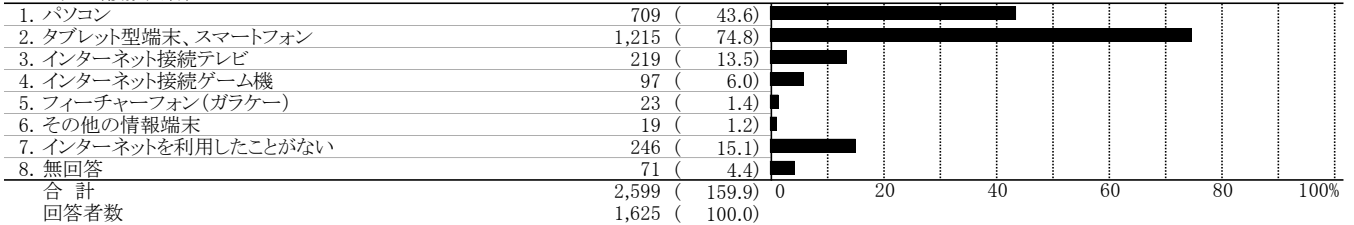
問38. 消費者生活トラブルにあった場合に、どのような相談方法や解決方法があるかを知っていますか(複数回答)



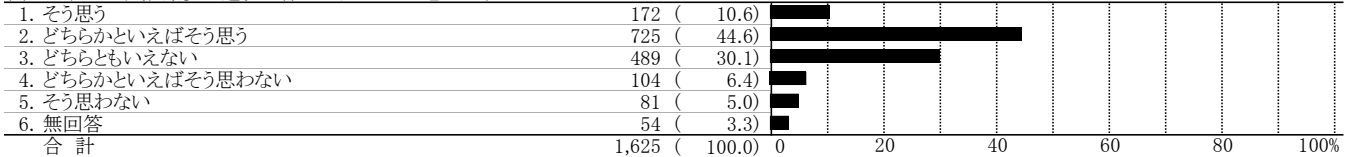
問39. [65歳以上の方]日々の暮らしの中で、どのようなことに生きがいを感じますか(複数回答)



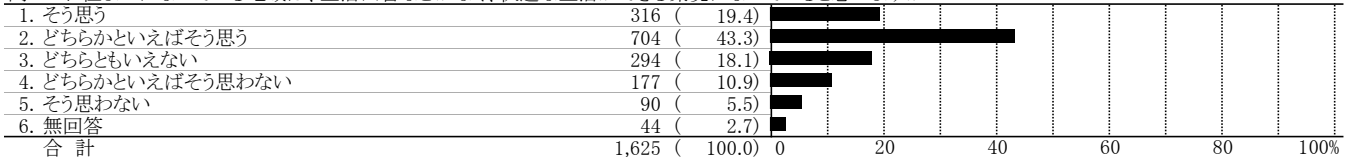
問40. この1年間に、インターネットの利用(電子メールの送受信、ホームページの閲覧、LINEなどSNSの利用など)に当たって、どの情報媒体を利用したことがありますか(複数回答)



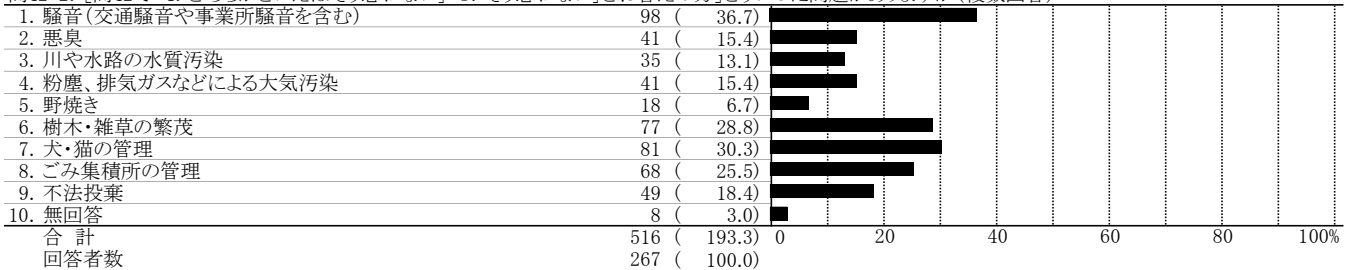
問41. 市内の自然環境が適切に保全されていると思いますか



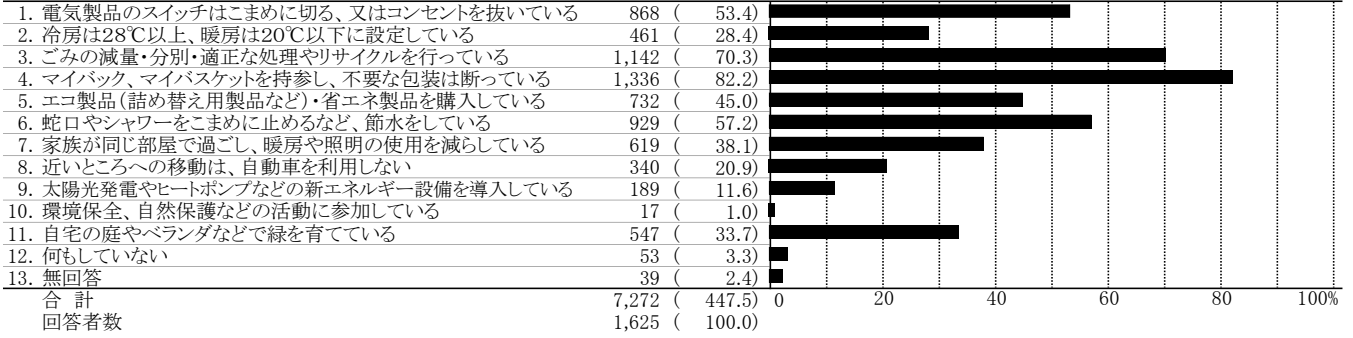
問42. お住まいになっている地域は、生活公害などがなく、快適な生活ができる環境になっていると思いますか



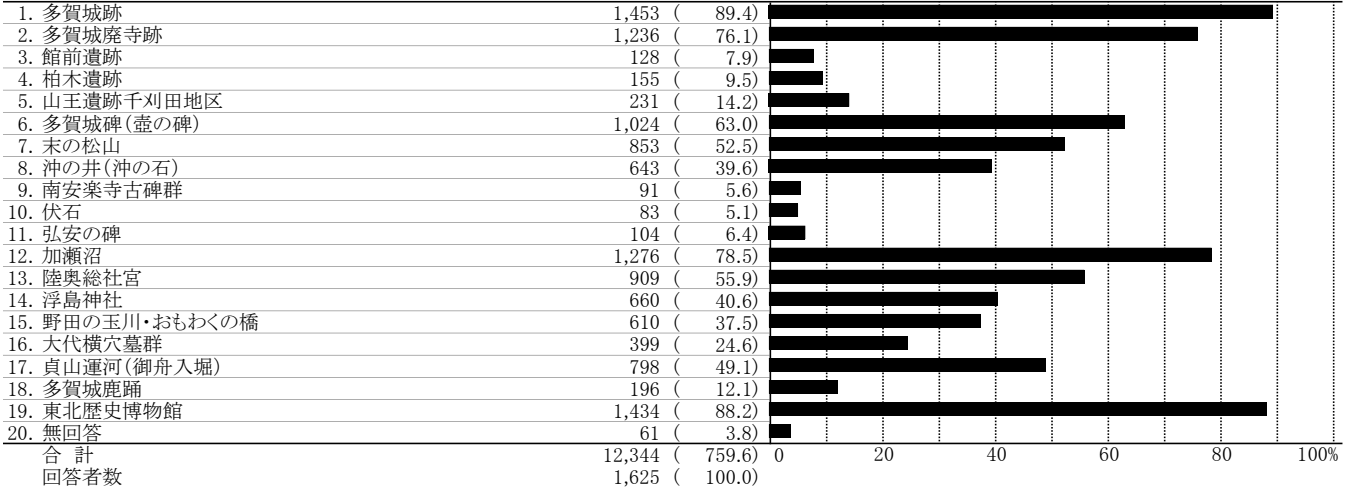
問42-2. [問42で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」とお答えの方]どういった問題がありますか(複数回答)



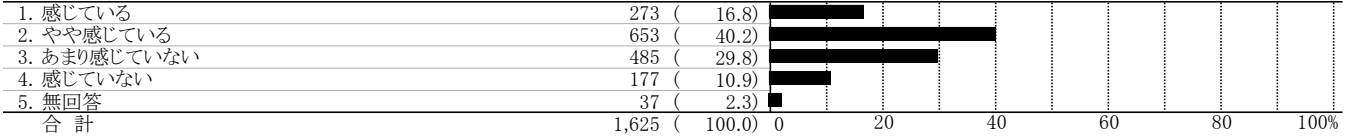
問43. 地球環境のために、どのような取り組みを積極的に行っていますか(複数回答)



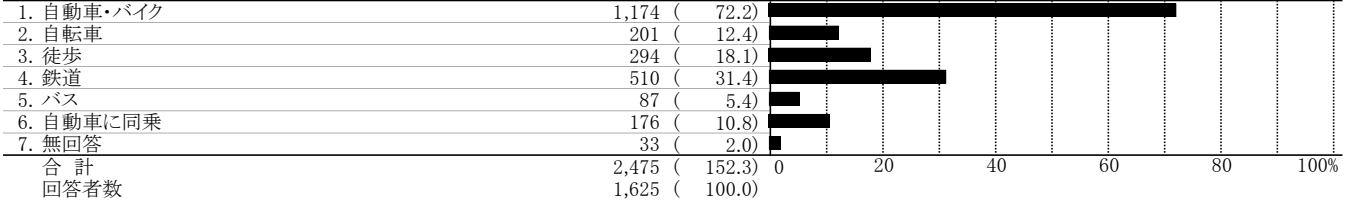
問44. 次の文化財等を知っていますか(複数回答)



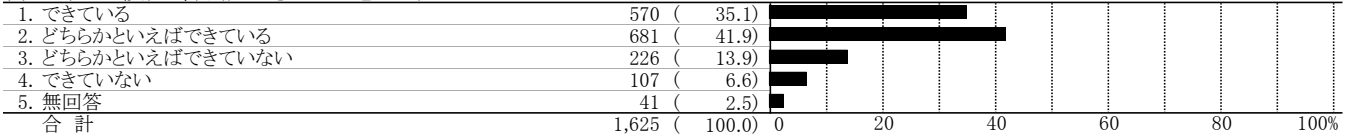
問45. 多賀城市の歴史や文化を身近に感じていますか



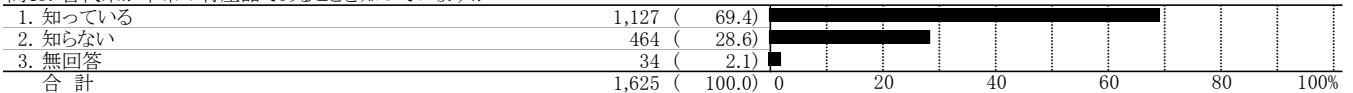
問46. 自宅から市内・市外への主な移動手段は何ですか(2つまで)



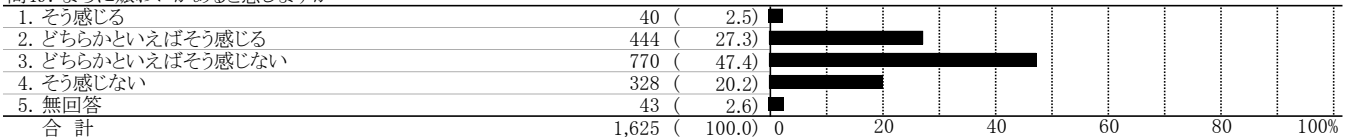
問47. 市内の移動が、円滑にできていると思いますか



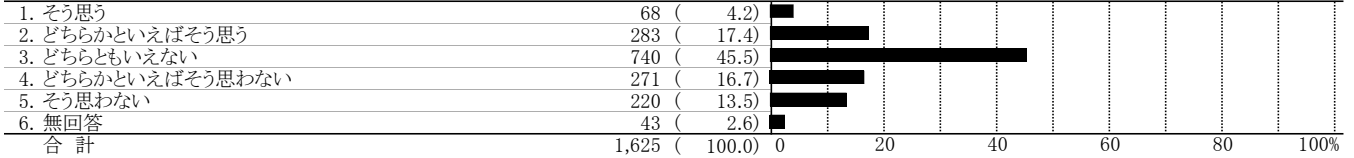
問48. 古代米が本市の特産品であることを知っていますか



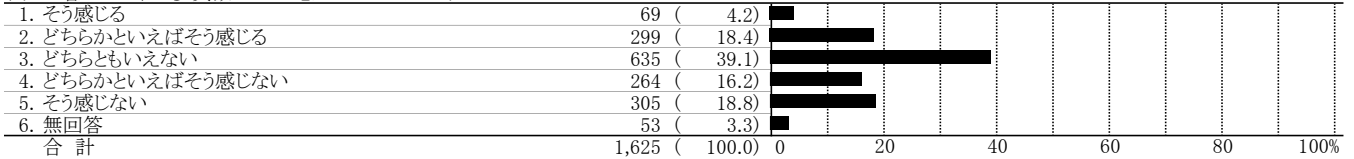
問49. まちに賑わいがあると感じますか



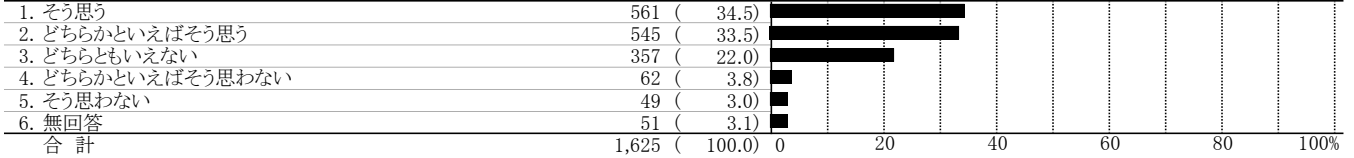
問50. 多くのことにチャレンジできるまちだと思いますか



問51. 暮らしの中で多賀城らしさを感じることがありますか

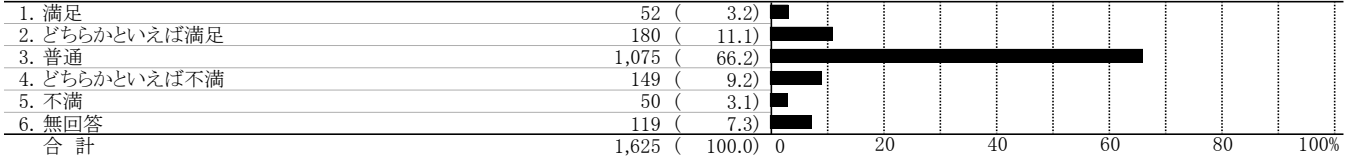


問52. このまちに住み続けたいと思いますか



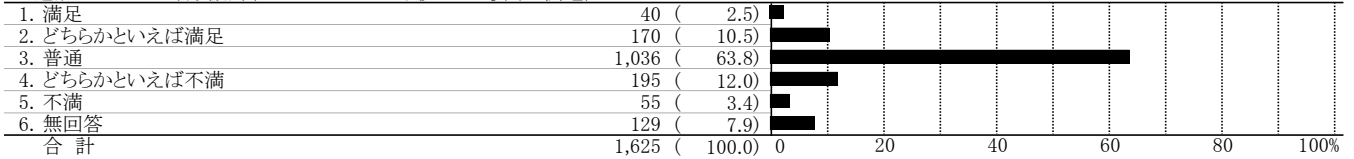
問53. 現在の満足度

1. 学習の機会(問27関連)



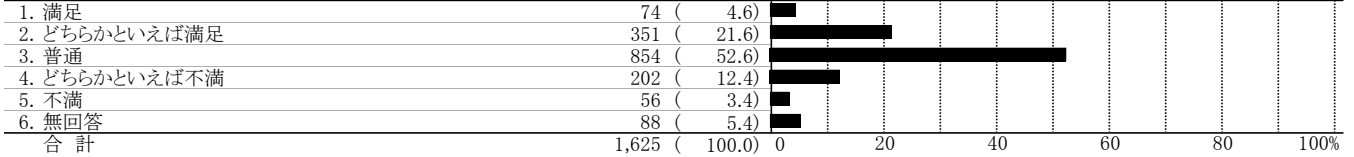
問53. 現在の満足度

2. 運動・スポーツを行う機会(スポーツイベントや教室など。問31関連)



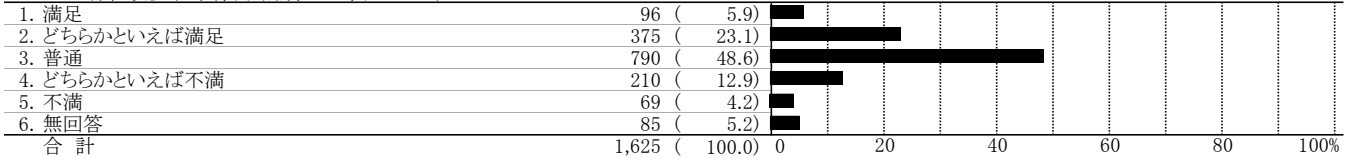
問53. 現在の満足度

3. まちなみの景観



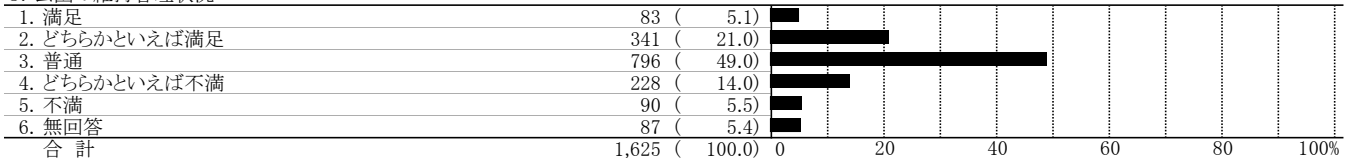
問53. 現在の満足度

4. まちの緑化状況(公園、街路樹、生垣、花壇など)



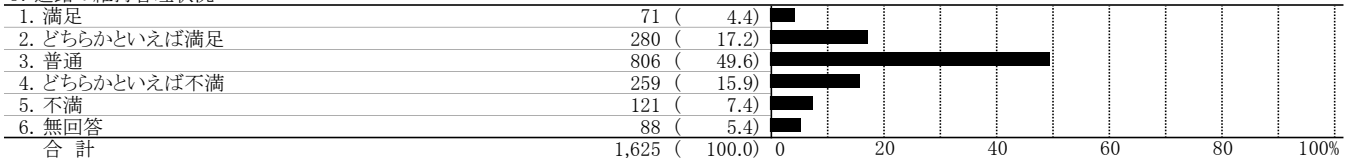
問53. 現在の満足度

5. 公園の維持管理状況

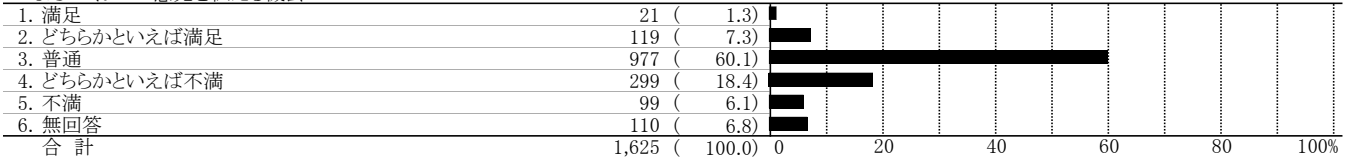


問53. 現在の満足度

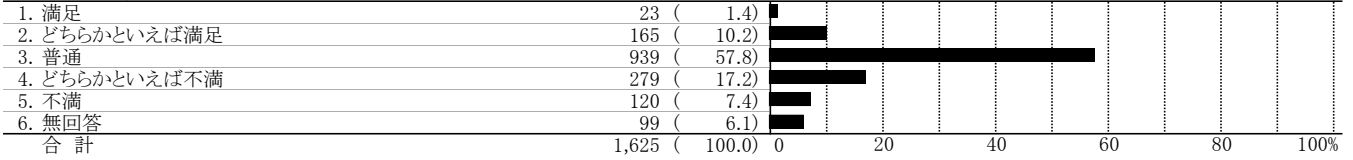
6. 道路の維持管理状況



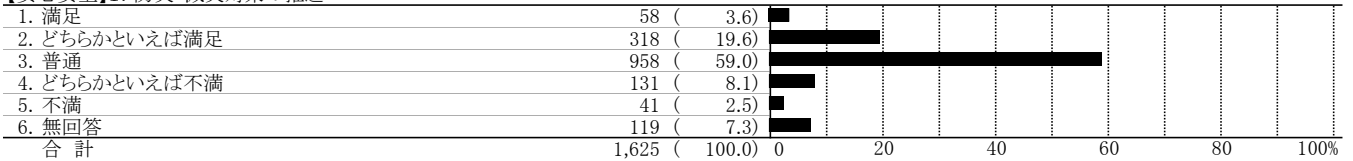
問53. 現在の満足度
7. まちづくりへの意見を伝える機会



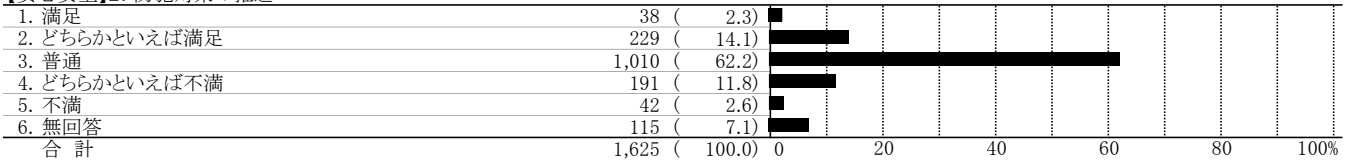
問53. 現在の満足度
8. 市民の理解と信頼に応える行政経営



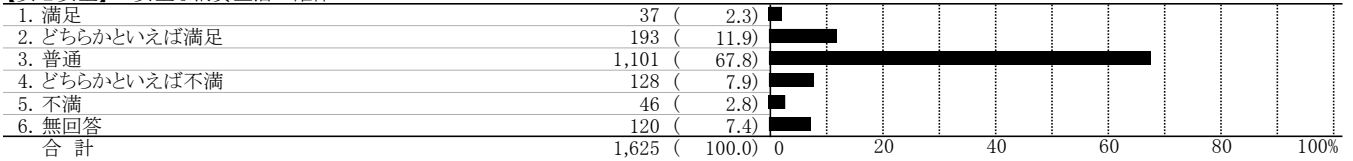
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



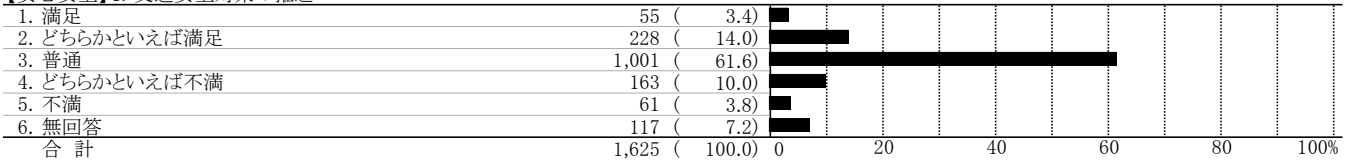
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】2. 防犯対策の推進



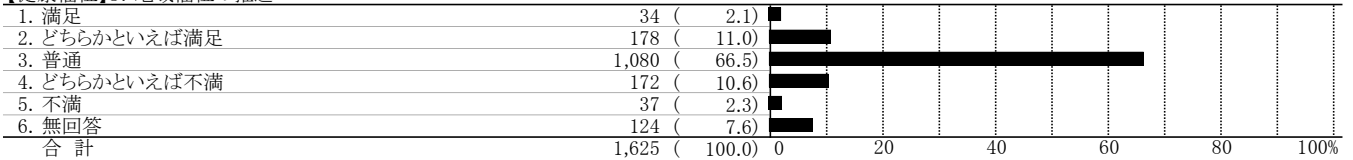
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



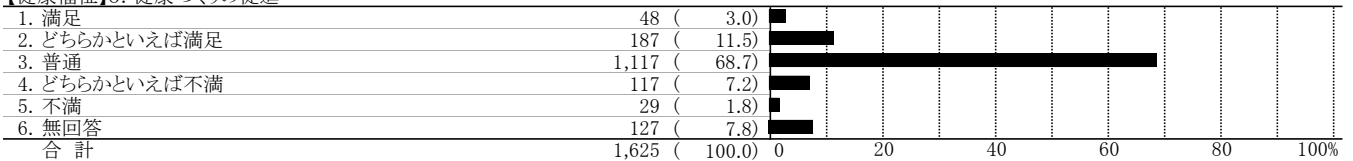
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】4. 交通安全対策の推進



問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】5. 地域福祉の推進

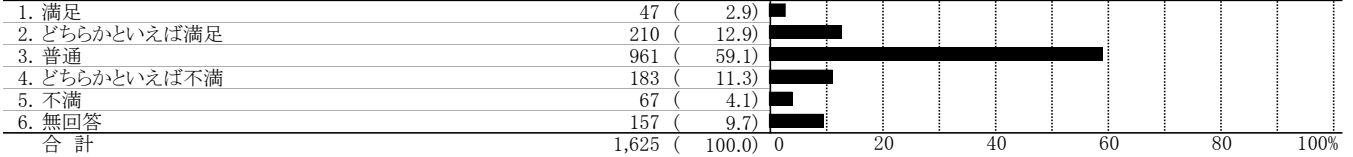


問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】6. 健康づくりの促進



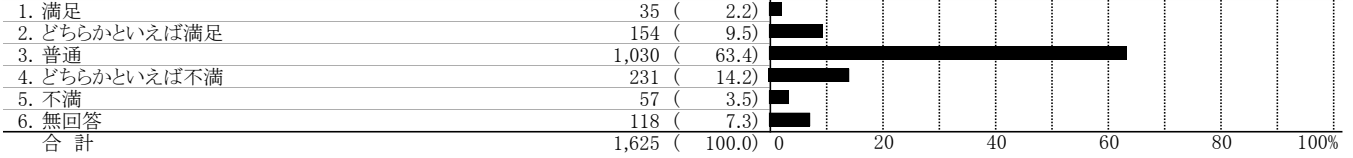
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



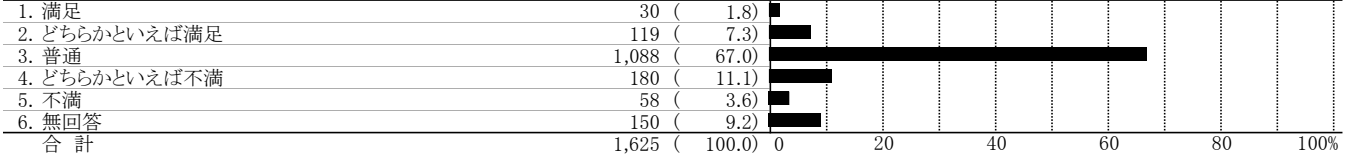
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



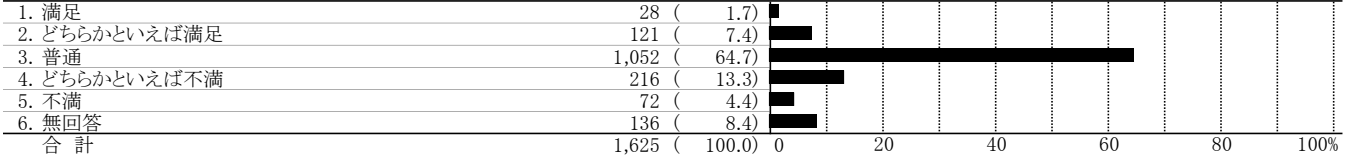
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進



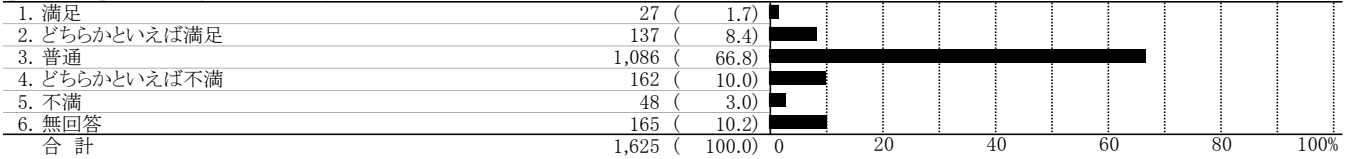
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



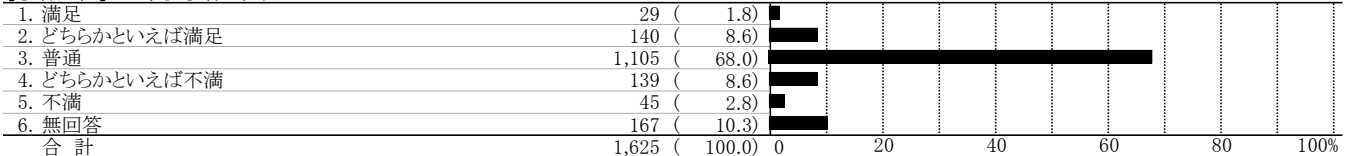
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



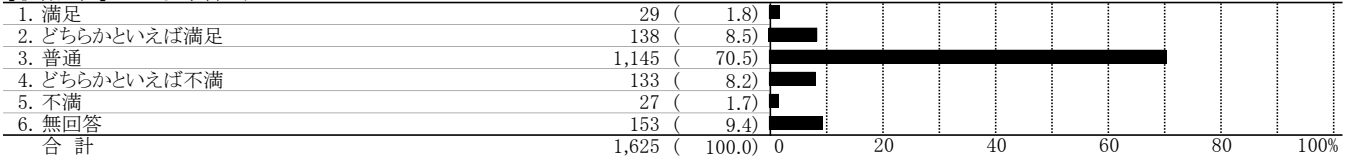
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



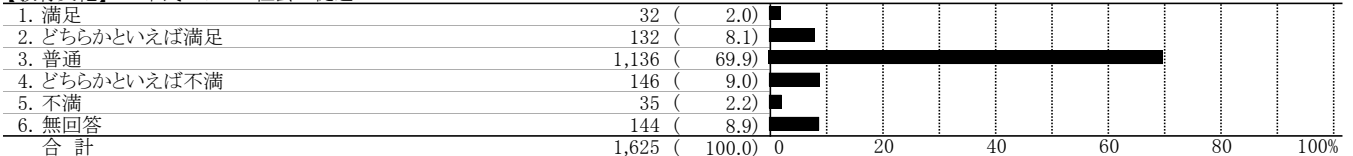
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



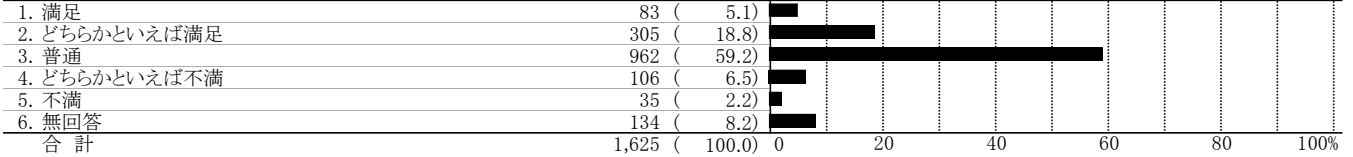
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



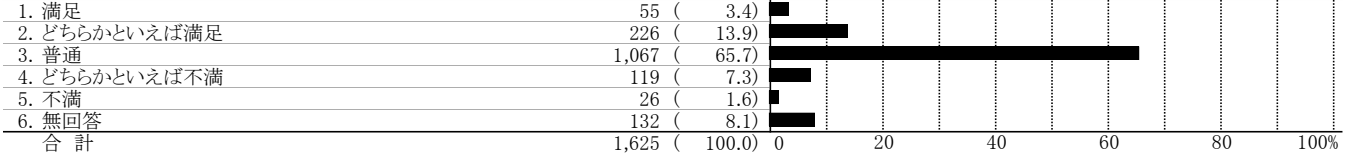
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



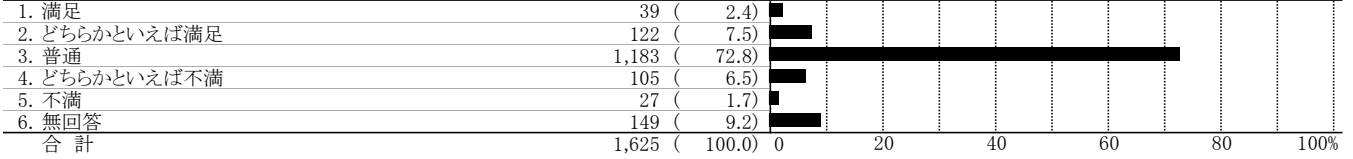
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



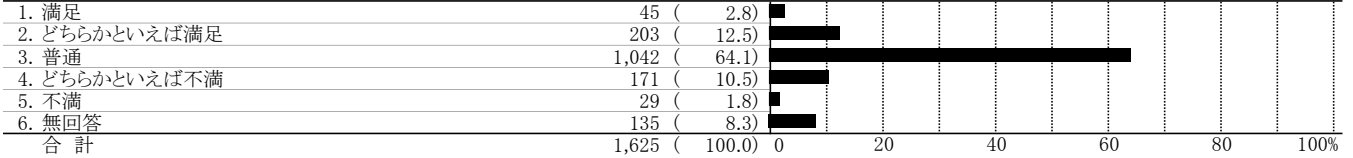
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



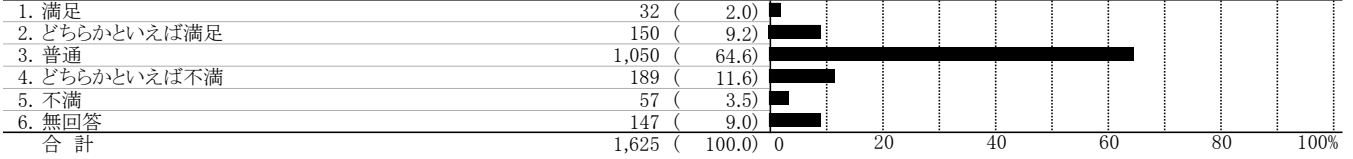
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



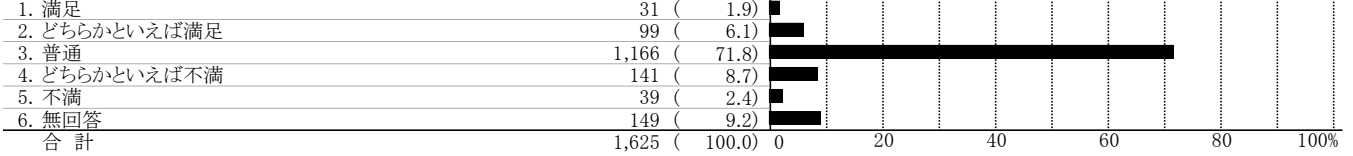
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



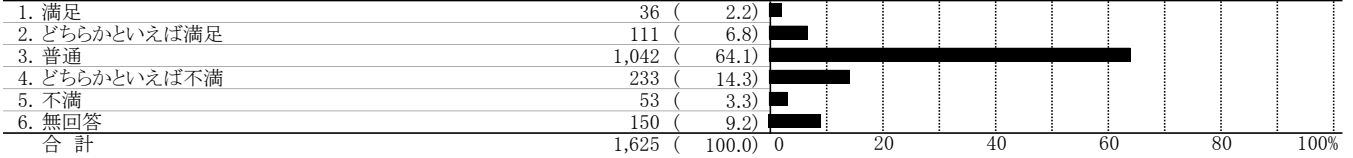
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】20. 農業の振興



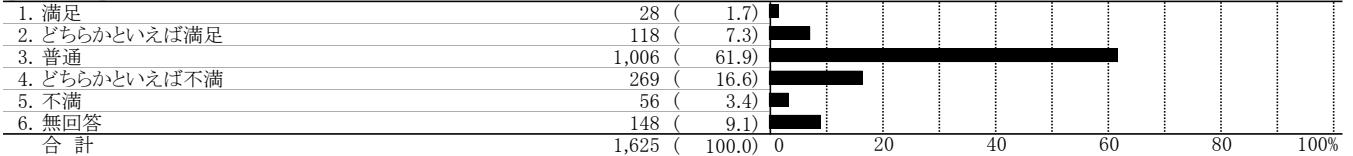
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】21. 商工業の振興



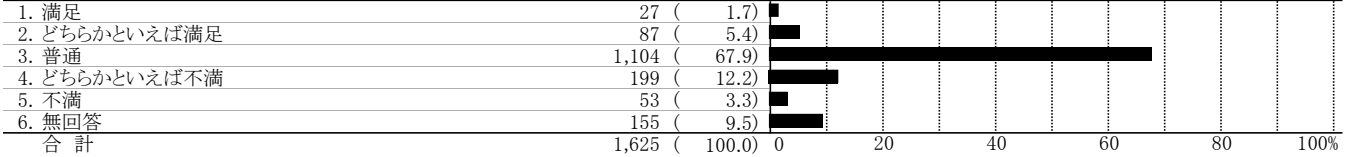
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



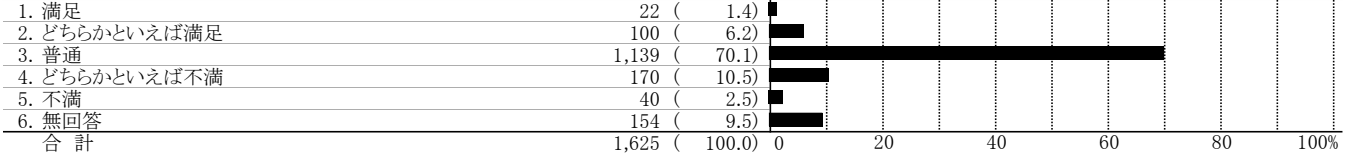
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



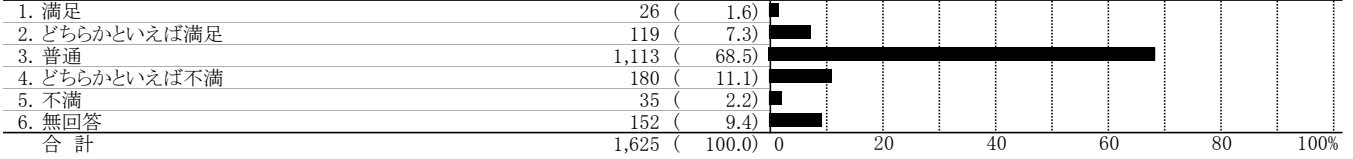
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



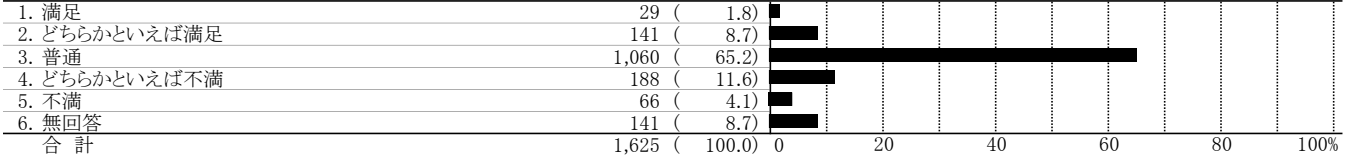
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



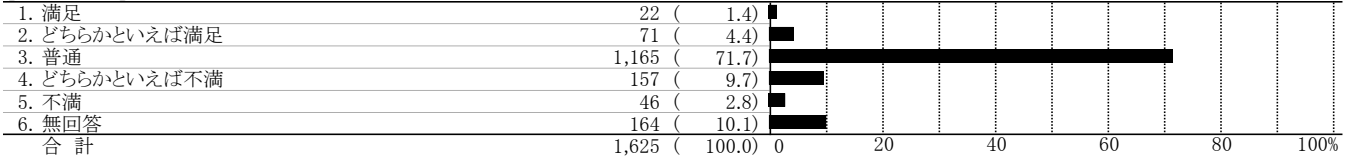
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



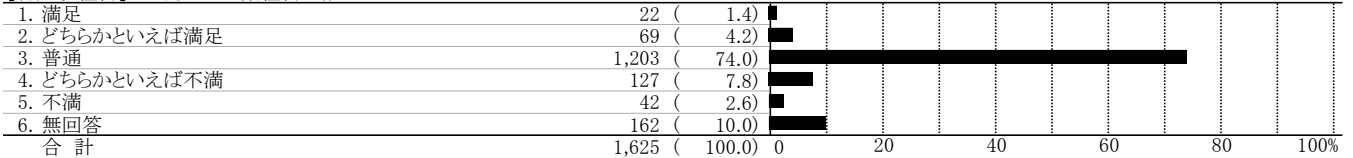
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



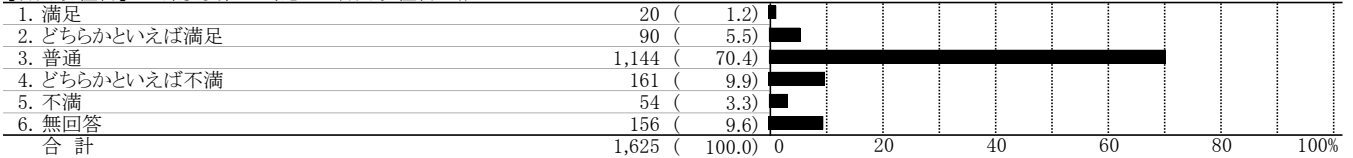
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進



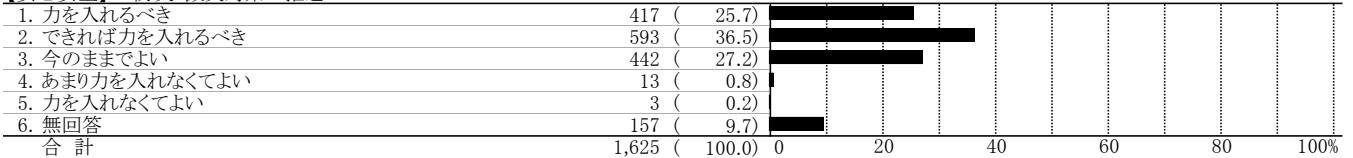
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



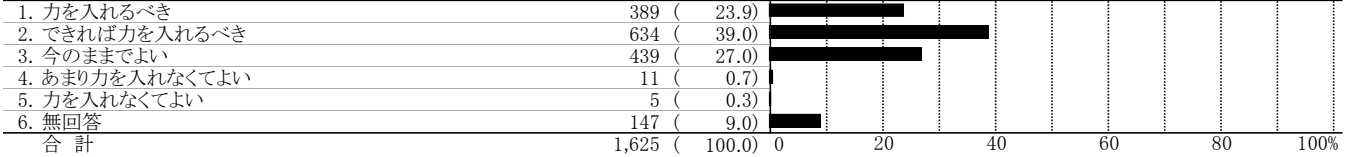
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



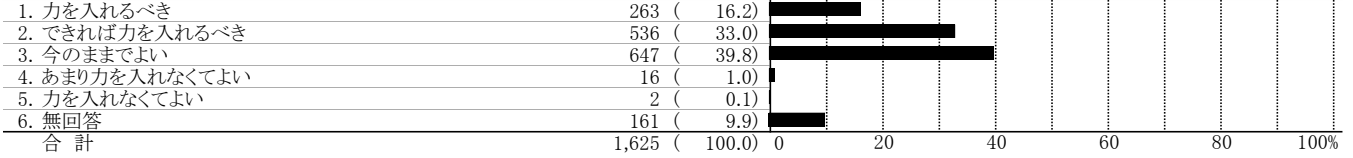
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



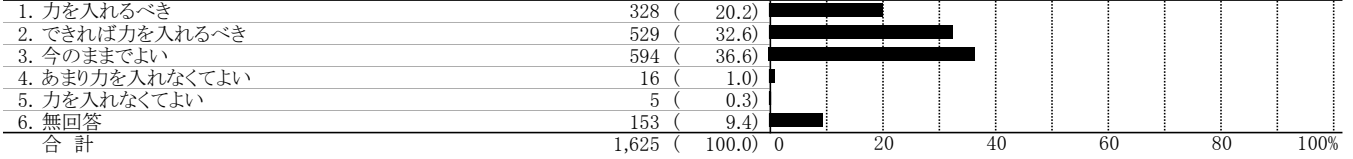
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



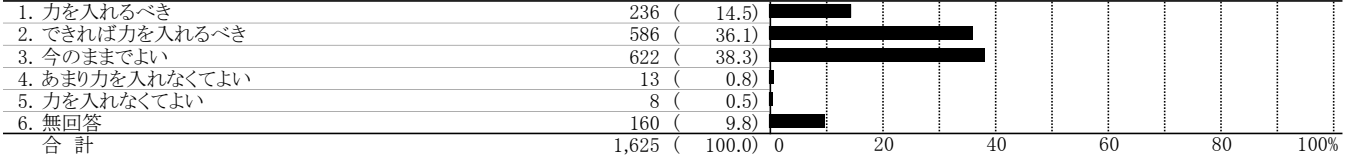
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



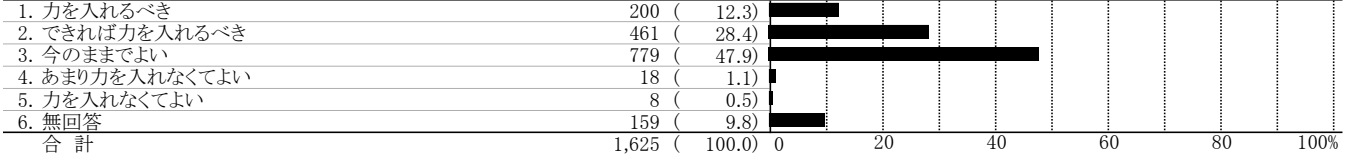
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



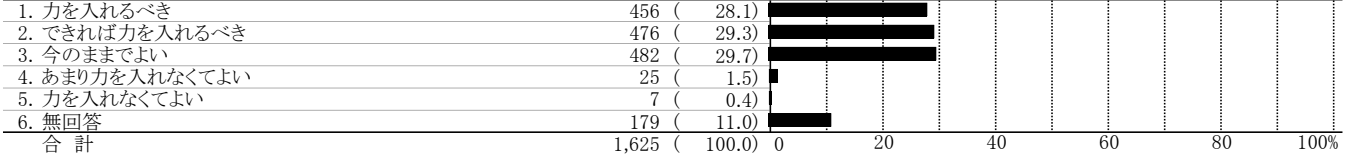
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



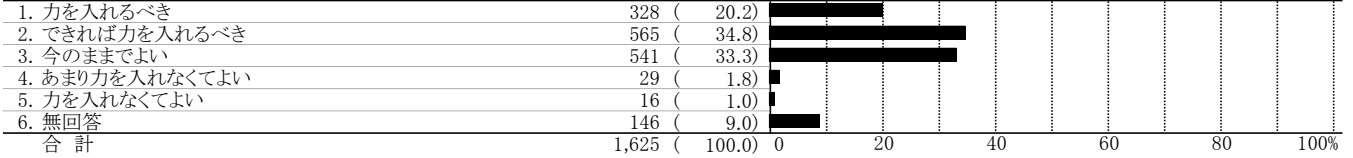
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



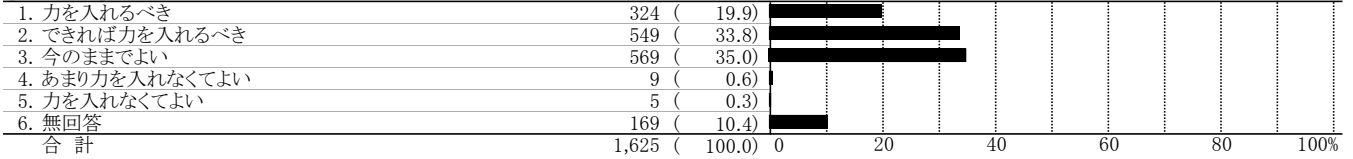
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



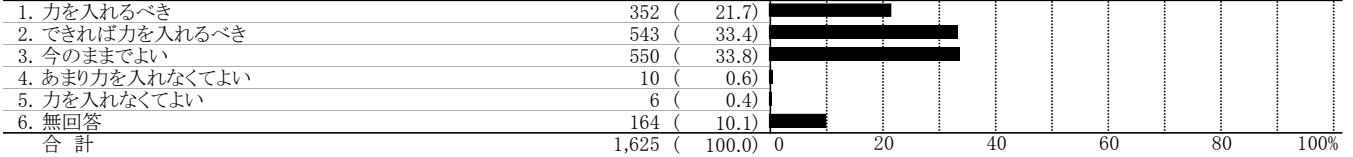
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進



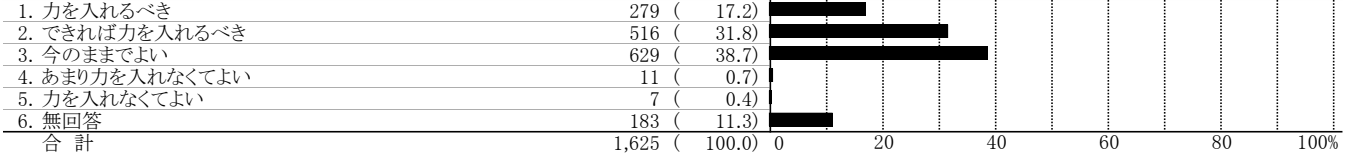
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



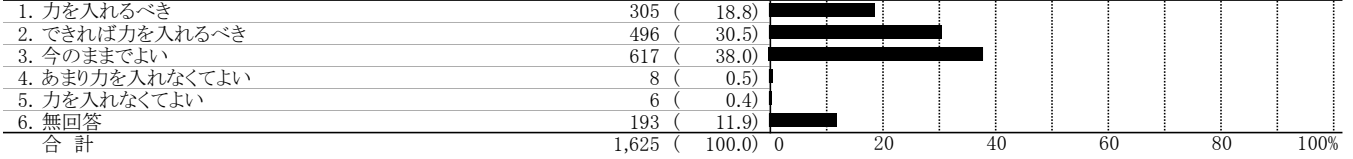
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



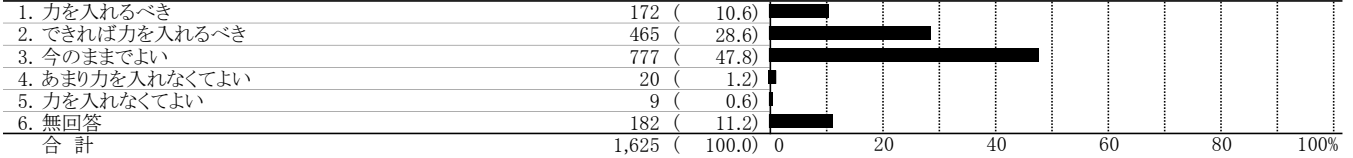
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



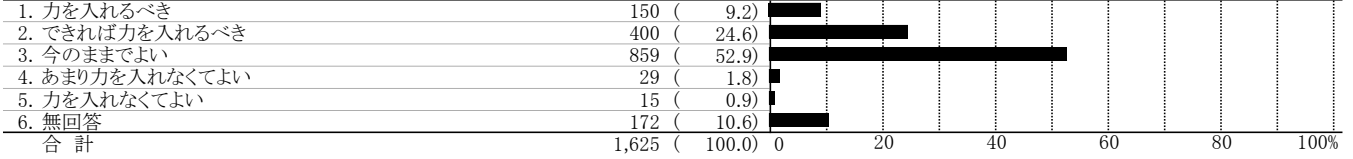
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



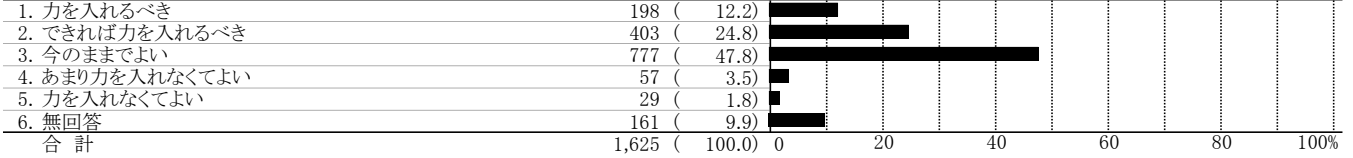
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



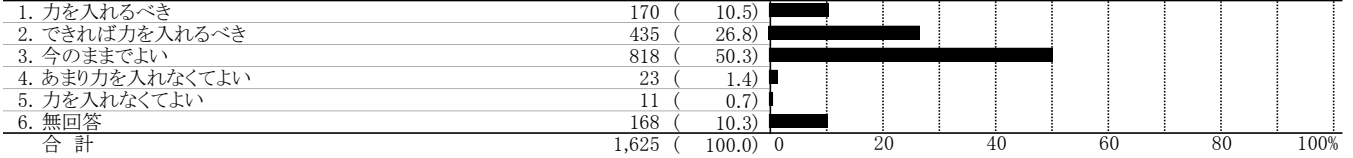
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



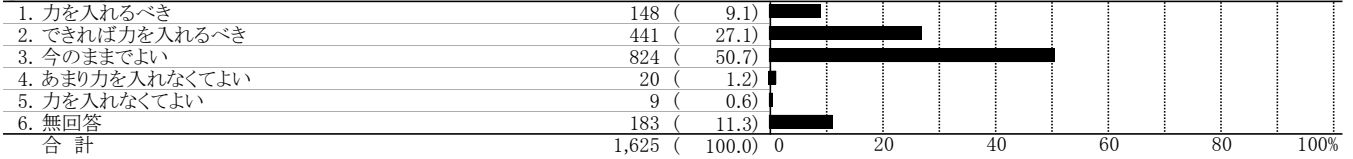
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



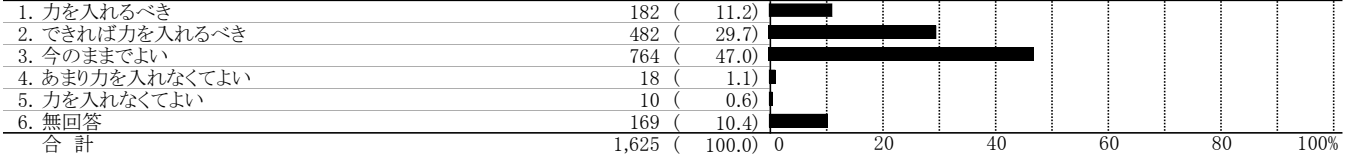
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



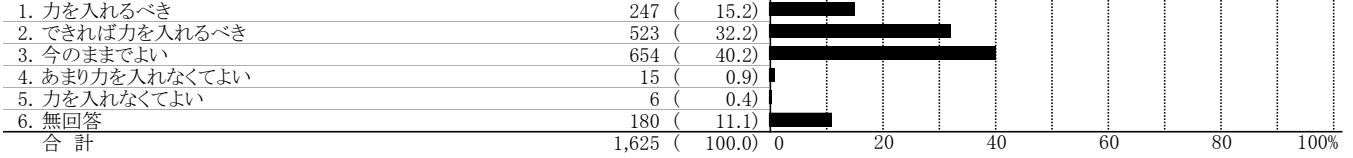
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



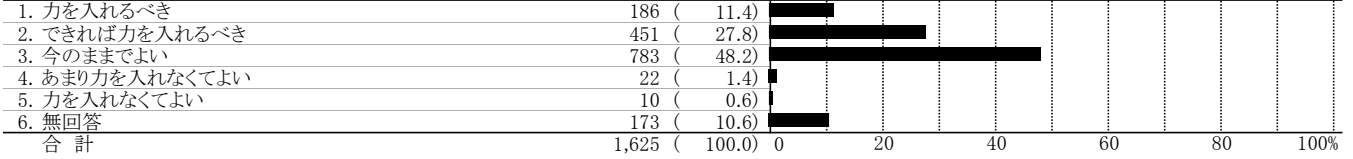
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



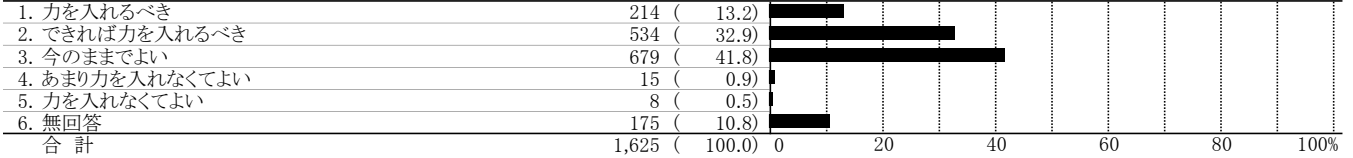
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】20. 農業の振興



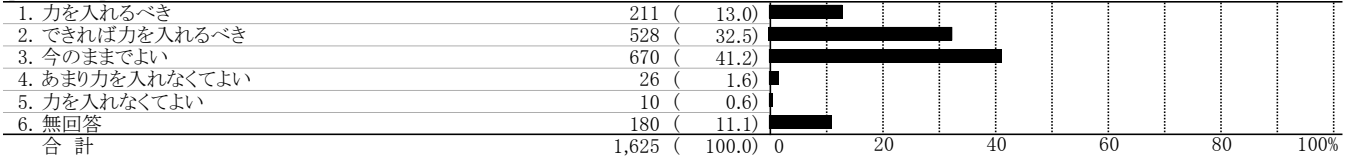
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】21. 商工業の振興



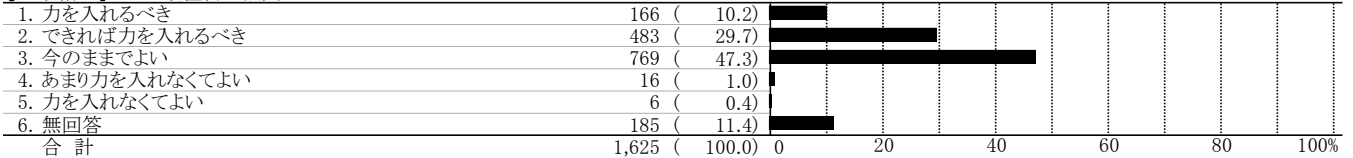
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



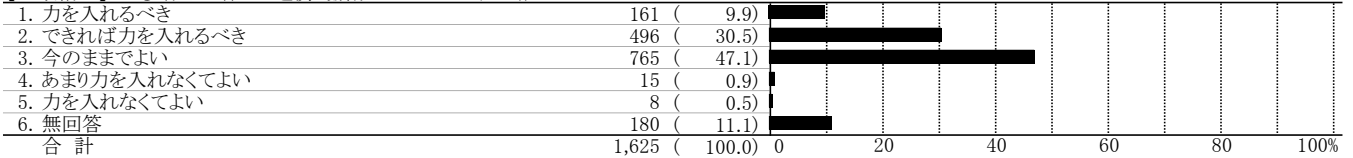
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



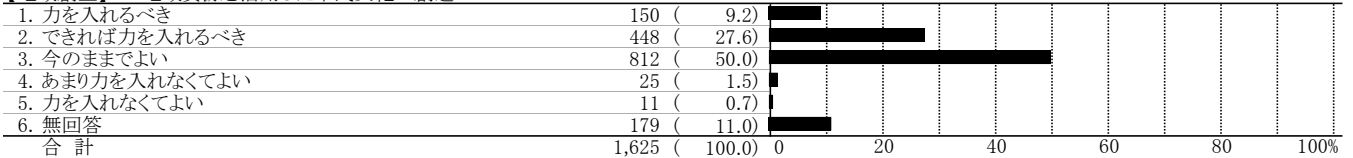
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



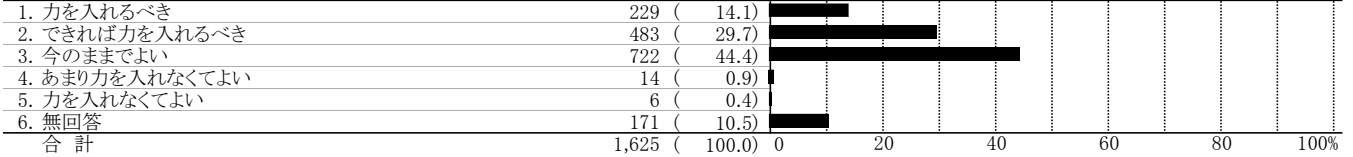
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



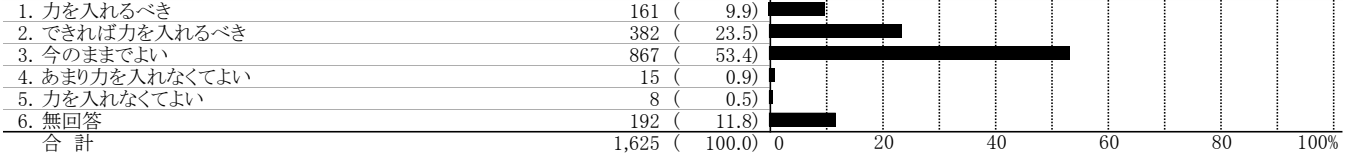
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



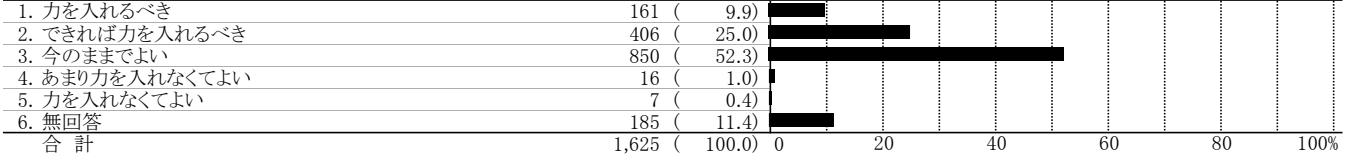
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



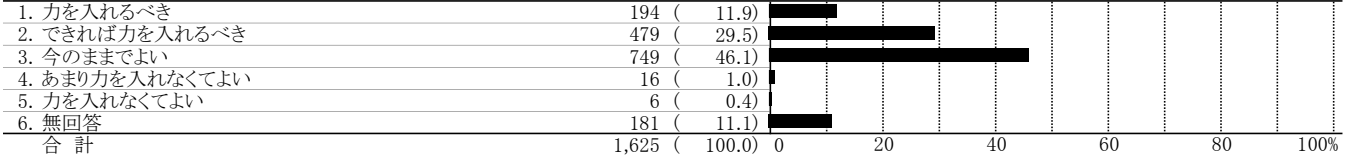
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進

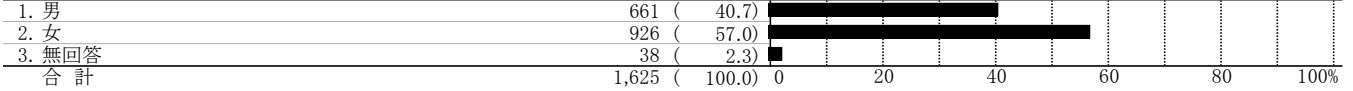


問54. まちづくりについて「今後の重要度」

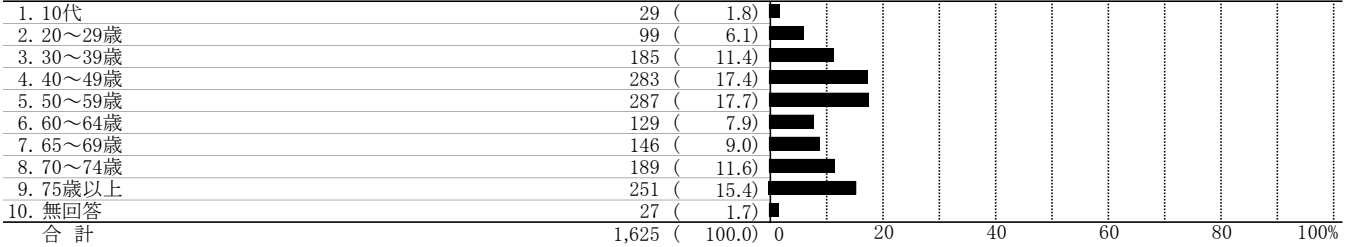
【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



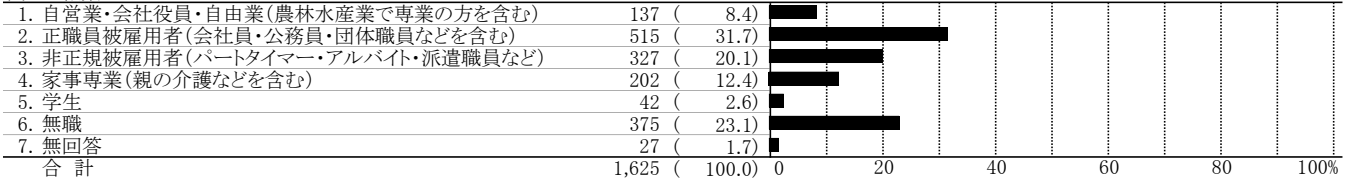
問55. 性別



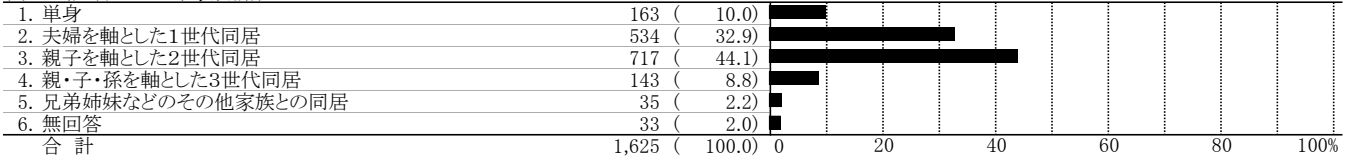
問56. 年齢



問57. 職業

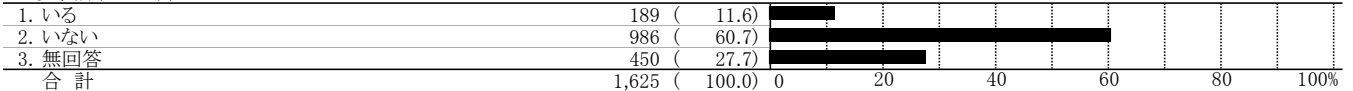


問58. (同居している)家族構成



問59. 同居している家族に、次の方はいますか

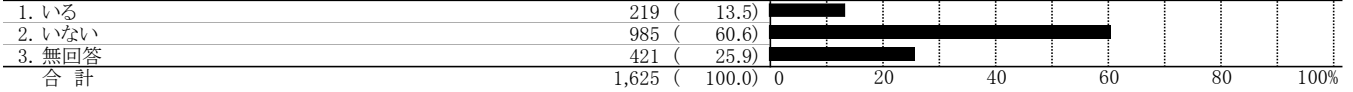
1. 就学前(0～5歳)



多賀城市 まちづくりアンケート

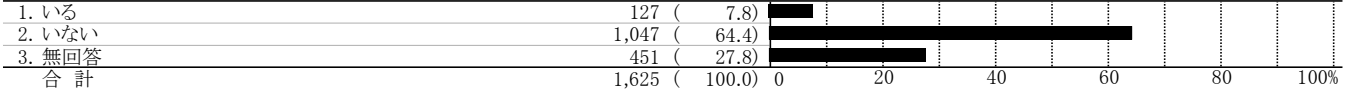
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

2. 小学生



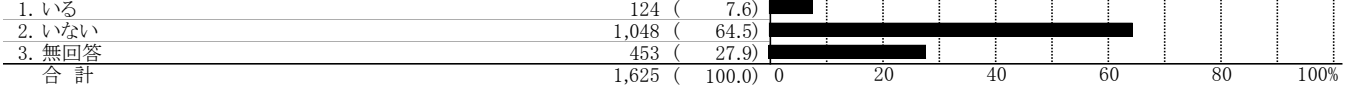
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

3. 中学生



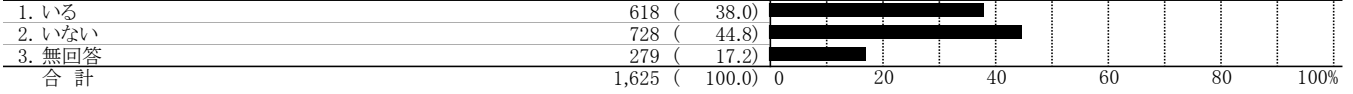
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

4. 高校生



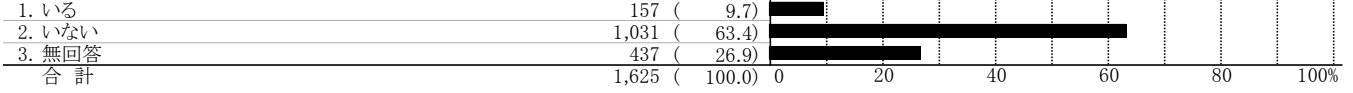
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

5. 65歳以上の方

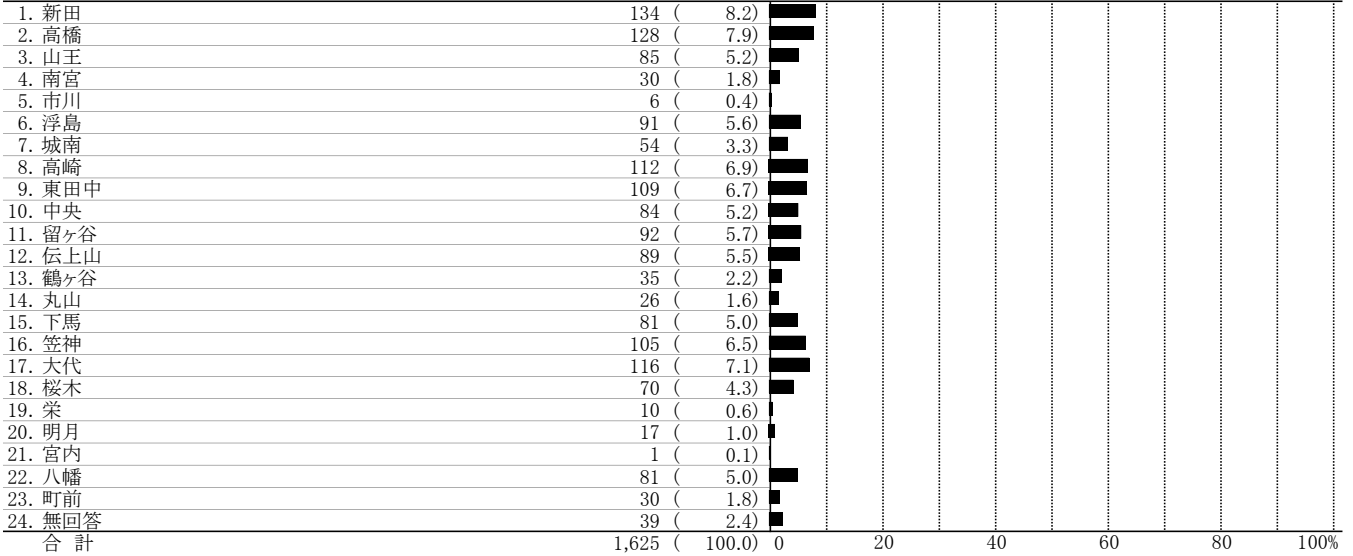


問59. 同居している家族に、次の方はいますか

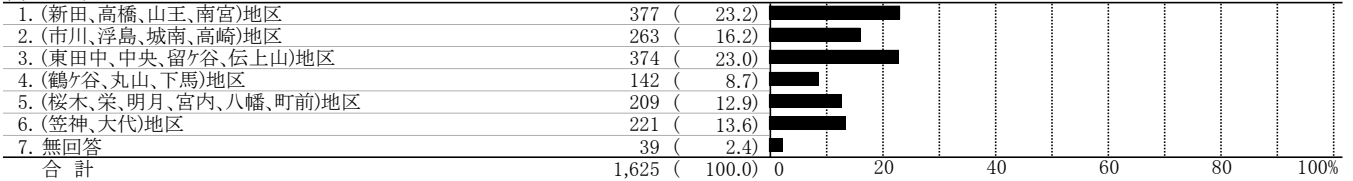
6. 障害のある方



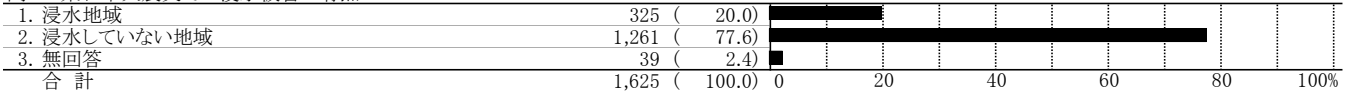
問60. 地区



問60. 地区



問60. 東日本大震災での浸水被害の有無



問61. 主にどの駅を利用していますか

